

平成29年度  
医学部健康総合科学科  
《新カリ3年生用》



## 【開講時期順】医学部 健康総合科学科講義一覧、目次

開講ターム：S1-S1ターム、S2-S2ターム、A1-A1ターム、A2-A2ターム、W-Wターム

※複数タームを通して開講する授業およびタームをまたがって開講する授業は、連続して表示(例:S1S2)

記号:◎ - 共通必修、専修必修(※ - 環境生命科学専修必修、☆ - 公共健康科学専修必修、# - 看護科学専修必修)、\$ - 選択

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
<b>概論・学習技術 (7科目)</b>						
◎	健康総合科学概論	1	2年 A 1 A 2	02211	全教室 (学科長)	—
◎	科学論文・表現技術	1	2年 A 2	02204	保健社会学	—
☆	疫学論文の読み方と書き方	1	3年 A 2	02238	保健社会学	61
\$	保健と教育	2	4年 S 2	02294	持ち回り	—
◎	健康総合科学英語 I	1	2年 A 1	02210	教育委員長	—
\$	健康総合科学英語 II	1	3年 A 1	02281	教育委員長	52
\$	ゼミナール	1	2年 A 1 A 2、3年通年	02290	各教室	27
<b>ヒトの生命メカニズム (18科目)</b>						
◎	解剖学	1	2年 A 1	02203	保健栄養学	—
◎	薬理学・毒性学	2	2年 A 2	02225	人類生態学	—
◎	栄養学	2	3年 S 1	02201	保健栄養学	30
※	生命環境科学のトピックス	1	2年 A 2	02232	母子保健学	—
◎	生理学	2	2年 A 1	02221	人類生態学	—
◎	生命科学・ゲノム学 I	1	2年 A 2	02219	保健栄養学	—
☆※	生命科学・ゲノム学 II	1	3年 S 1	02229	保健栄養学	37
◎	人類遺伝学 I	1	2年 A 2	02214	人類遺伝学	—
※	人類遺伝学 II	2	3年 A 1	02228	人類遺伝学	54
※	バイオインフォマティクス	1	4年 S 2	02233	人類遺伝学	—
◎	基礎生命科学	2	2年 A 1	02226	保健栄養学	—
◎	生命科学実習 I	1	3年 S 2	02220	保健栄養学/母子保健学	44
※	生命科学実習 II	1	3年 S 2	02230	保健栄養学/母子保健学	45
※	生命環境科学演習	1	3年 A 2	02231	保健栄養学/母子保健学/ 人類遺伝学/人類生態学	68
※#	母子保健学	2	3年 S 1	02235	母子保健学	39
◎	免疫と生態防御	1	3年 S 1	02224	母子保健学	40
※#	発生発達学	2	2年 A 1	02234	母子保健学	—
#	解剖示説	1	3年 A 1	02245	老年看護学	51
<b>集団の健康 (18科目)</b>						
◎	環境と健康	2	2年 A 2	02205	人類生態学	—
\$	環境人間工学	1	4年 S 2	02276	人類生態学	—
\$	健康空間情報科学	1	4年 A 1	02280	人類生態学	—

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
\$	食品安全評価	2	3年 A 1	02287	保健栄養学	—
◎	疫学	2	3年 S 1	02202	疫学・生物統計学	31
◎	生物統計学	2	2年 A 1	02216	疫学・生物統計学	—
◎	生物統計学実習	1	3年 S 1	02217	疫学・生物統計学	36
☆	医学データの統計解析	1	3年 A 1	02236	疫学・生物統計学	47
☆	医学データの統計解析実習	1	3年 A 1	02237	疫学・生物統計学	48
☆	臨床・疫学研究の実例	1	3年 A 1	02244	疫学・生物統計学	58
\$	社会疫学	1	4年 A 1	02285	保健社会学	—
\$	理論疫学	2	4年 A 1	02295	疫学・生物統計学	—
\$	応用数理	2	4年 S 2	02275	疫学・生物統計学	—
◎	国際保健学	1	2年 A 1	02212	人類生態学	—
◎	人類生態学	2	3年 S 1	02215	人類生態学	35
\$	人口学	1	3年 A 1	02288	人類生態学	53
\$	医療人類学	1	3年 S 1	02274	人類生態学	29
\$	学校保健学	2	4年 S 2	02227	母子保健学	—
<b>社会的生物としての人間の健康 (18 科目)</b>						
◎	社会と健康	2	2年 A 2	02213	保健社会学	—
#	社会福祉・社会保障論	1	3年 A 2	02260	保健社会学	64
◎	生命・医療倫理 I	2	2年 A 2	02218	保健管理学	—
\$	生命・医療倫理 II	2	3年 A 1	02289	保健管理学	56
◎	健康心理学	1	2年 A 1	02209	精神衛生・看護学	—
#	心の健康科学	1	3年 S 2	02256	精神衛生・看護学	43
☆#	精神保健学実習	1	3年 S 2	02243	精神衛生・看護学	46
\$	心の健康トピックス	1	3年 A 2	02284	精神衛生・看護学	67
☆#	公共健康科学統合講義 I	2	2年 A 2	02241	保健社会学	—
☆	公共健康科学統合講義 II	2	3年 S 1	02242	精神衛生・看護学	33
#	健康行動の理論と科学	2	4年 S 2	02254	保健管理学	—
☆	公共健康科学演習 I	1	3年 A 2	02239	疫学・生物統計学	63
☆	公共健康科学演習 II	1	4年 S 1	02240	保健管理学	—
◎	健康科学調査実習	2	4年 S 1	02208	保健社会学	—
\$	健康教育 (職域・地域)	2	3年 A 2	02279	保健社会学	62
\$	健康増進科学	1	3年 A 1	02282	保健管理学	—
\$	臨床倫理	2	3年 A 2	02296	保健管理学	70
\$	公衆衛生倫理	2	4年 S 2	02283	保健管理学	—
<b>健康の破綻と回復 (22 科目)</b>						
◎	感染症	1	2年 A 1	02207	母子保健学	—
◎	病態疾患論	2	3年 S 1	02223	成人保健・看護学	38
#	疾病論	2	3年 S 1	02259	老年看護学	34
◎	看護学概論	1	2年 A 1	02206	基礎看護学	—
#	救急処置	1	3年 S 1	02252	母性看護学	32

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
#	基礎看護学Ⅰ	2	2年 A 2	02250	基礎看護学	—
\$	基礎看護学Ⅱ	2	4年 S 1	02278	基礎看護学	—
#	母性看護学	2	3年 A 1	02269	母性看護学	57
#	看護支援技術論	2	3年 S 2	02249	基礎看護学	41
#	在宅看護論	2	3年 A 1 A 2	02258	地域看護学	60
#	精神看護学	2	4年 S 1	02264	精神衛生・看護学	—
#	老年看護学	2	3年 A 2	02272	老年看護学	71
\$	看護理工学	2	4年 S 2	02277	老年看護学	—
#	成人看護学	2	3年 A 1	02265	成人保健・看護学	55
\$	長期ケア看護学	2	3年 A 2	02293	成人保健・看護学	69
#	小児看護学Ⅰ	2	3年 A 2	02261	家族看護学	65
\$	小児看護学Ⅱ	2	4年 S 2	02286	家族看護学	—
#	ヘルスコミュニケーション学	1	3年 S 1	02268	家族看護学	28
\$	地域看護学	2	4年 S 1	02292	地域看護学	—
#	看護管理学	1	4年 S 1	02247	基礎看護学	—
#	家族と健康	2	3年 A 1	02246	家族看護学	49
\$	専門講義	1	通年	02291	各教室	—
<b>看護学実習（12科目）</b>						
#	健康支援実習	1	2年 W	02255	老年看護学	—
#	基礎看護学実習	2	3年 S 2	02251	基礎看護学	42
#	小児看護学実習Ⅰ	1	3年 W	02262	家族看護学	73
#	在宅看護学実習	2	3年 A 1 A 2、4年 A 1	02257	地域看護学	59
#	母性看護学実習	2	3年 A 2 W	02270	母性看護学	72
#	精神看護学実習	1	4年 A 1	02266	精神衛生・看護学	—
#	老年看護学実習	2	4年夏季休業期間	02273	老年看護学	—
#	小児看護学実習Ⅱ	1	4年 A 1	02263	家族看護学	—
#	急性期看護学実習	2	4年 A 1	02253	成人保健・看護学	—
#	慢性期看護学実習	2	3年 W	02271	成人保健・看護学	75
#	統合実践実習	1	4年 A 1	02267	家族看護学	—
#	看護管理学実習	1	4年 S 1	02248	基礎看護学	—
<b>卒業論文</b>						
◎	卒業論文	6	4年通年	02222	各教室	—

## 【開講時期順】 医学部 健康総合科学科講義一覧、目次

開講ターム：S1-S1ターム、S2-S2ターム、A1-A1ターム、A2-A2ターム、W-Wターム

※複数タームを通して開講する授業およびタームをまたがって開講する授業は、連続して表示(例:S1S2)

記号:◎ - 共通必修、専修必修(※ - 環境生命科学専修必修、☆ - 公共健康科学専修必修、# - 看護科学専修必修)、\$ - 選択

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
◎	解剖学	1	2年 A 1	02203	保健栄養学	—
◎	感染症	1	2年 A 1	02207	母子保健学	—
◎	看護学概論	1	2年 A 1	02206	基礎看護学	—
◎	基礎生命科学	2	2年 A 1	02226	保健栄養学	—
◎	健康心理学	1	2年 A 1	02209	精神衛生・看護学	—
◎	健康総合科学英語 I	1	2年 A 1	02210	教育委員長	—
◎	国際保健学	1	2年 A 1	02212	人類生態学	—
◎	生物統計学	2	2年 A 1	02216	疫学・生物統計学	—
◎	生理学	2	2年 A 1	02221	人類生態学	—
※#	発生発達学	2	2年 A 1	02234	母子保健学	—
◎	健康総合科学概論	1	2年 A 1 A 2	02211	全教室(学科長)	—
\$	ゼミナール	1	2年 A 1 A 2、3年通年	02290	各教室	27
◎	科学論文・表現技術	1	2年 A 2	02204	保健社会学	—
◎	環境と健康	2	2年 A 2	02205	人類生態学	—
#	基礎看護学 I	2	2年 A 2	02250	基礎看護学	—
☆#	公共健康科学統合講義 I	2	2年 A 2	02241	保健社会学	—
◎	社会と健康	2	2年 A 2	02213	保健社会学	—
◎	人類遺伝学 I	1	2年 A 2	02214	人類遺伝学	—
◎	生命・医療倫理 I	2	2年 A 2	02218	保健管理学	—
◎	生命科学・ゲノム学 I	1	2年 A 2	02219	保健栄養学	—
※	生命環境科学のトピックス	1	2年 A 2	02232	母子保健学	—
◎	薬理学・毒性学	2	2年 A 2	02225	人類生態学	—
#	健康支援実習	1	2年 W	02255	老年看護学	—
#	ヘルスコミュニケーション学	1	3年 S 1	02268	家族看護学	28
\$	医療人類学	1	3年 S 1	02274	人類生態学	29
◎	栄養学	2	3年 S 1	02201	保健栄養学	30
◎	疫学	2	3年 S 1	02202	疫学・生物統計学	31
#	救急処置	1	3年 S 1	02252	母性看護学	32
☆	公共健康科学統合講義 II	2	3年 S 1	02242	精神衛生・看護学	33
#	疾病論	2	3年 S 1	02259	老年看護学	34
◎	人類生態学	2	3年 S 1	02215	人類生態学	35

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
◎	生物統計学実習	1	3年 S 1	02217	疫学・生物統計学	36
☆※	生命科学・ゲノム学Ⅱ	1	3年 S 1	02229	保健栄養学	37
◎	病態疾患論	2	3年 S 1	02223	成人保健・看護学	38
※#	母子保健学	2	3年 S 1	02235	母子保健学	39
◎	免疫と生態防御	1	3年 S 1	02224	母子保健学	40
#	看護支援技術論	2	3年 S 2	02249	基礎看護学	41
#	基礎看護学実習	2	3年 S 2	02251	基礎看護学	42
#	心の健康科学	1	3年 S 2	02256	精神衛生・看護学	43
◎	生命科学実習Ⅰ	1	3年 S 2	02220	保健栄養学／母子保健学	44
※	生命科学実習Ⅱ	1	3年 S 2	02230	保健栄養学／母子保健学	45
☆#	精神保健学実習	1	3年 S 2	02243	精神衛生・看護学	46
☆	医学データの統計解析	1	3年 A 1	02236	疫学・生物統計学	47
☆	医学データの統計解析実習	1	3年 A 1	02237	疫学・生物統計学	48
#	家族と健康	2	3年 A 1	02246	家族看護学	49
#	解剖示説	1	3年 A 1	02245	老年看護学	51
\$	健康総合科学英語Ⅱ	1	3年 A 1	02281	教育委員長	52
\$	健康増進科学	1	3年 A 1	02282	保健管理学	—
\$	食品安全評価	2	3年 A 1	02287	保健栄養学	—
\$	人口学	1	3年 A 1	02288	人類生態学	53
※	人類遺伝学Ⅱ	2	3年 A 1	02228	人類遺伝学	54
#	成人看護学	2	3年 A 1	02265	成人保健・看護学	55
\$	生命・医療倫理Ⅱ	2	3年 A 1	02289	保健管理学	56
#	母性看護学	2	3年 A 1	02269	母性看護学	57
☆	臨床・疫学研究の実例	1	3年 A 1	02244	疫学・生物統計学	58
#	在宅看護学実習	2	3年 A 1 A 2、4年 A 1	02257	地域看護学	59
#	在宅看護論	2	3年 A1A2	02258	地域看護学	60
☆	疫学論文の読み方と書き方	1	3年 A 2	02238	保健社会学	61
\$	健康教育（職域・地域）	2	3年 A 2	02279	保健社会学	62
☆	公共健康科学演習Ⅰ	1	3年 A 2	02239	疫学・生物統計学	63
#	社会福祉・社会保障論	1	3年 A 2	02260	保健社会学	64
#	小児看護学Ⅰ	2	3年 A 2	02261	家族看護学	65
\$	心の健康トピックス	1	3年 A 2	02284	精神衛生・看護学	67
※	生命環境科学演習	1	3年 A 2	02231	保健栄養学／母子保健学／ 人類遺伝学／人類生態学	68
\$	長期ケア看護学	2	3年 A 2	02293	成人保健・看護学	69
\$	臨床倫理	2	3年 A 2	02296	保健管理学	70
#	老年看護学	2	3年 A 2	02272	老年看護学	71
#	母性看護学実習	2	3年 A2W	02270	母性看護学	72
#	小児看護学実習Ⅰ	1	3年 W	02262	家族看護学	73
#	慢性期看護学実習	2	3年 W	02271	成人保健・看護学	75
#	看護管理学	1	4年 S 1	02247	基礎看護学	—
#	看護管理学実習	1	4年 S 1	02248	基礎看護学	—

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
\$	基礎看護学Ⅱ	2	4年 S 1	02278	基礎看護学	—
◎	健康科学調査実習	2	4年 S 1	02208	保健社会学	—
☆	公共健康科学演習Ⅱ	1	4年 S 1	02240	保健管理学	—
#	精神看護学	2	4年 S 1	02264	精神衛生・看護学	—
\$	地域看護学	2	4年 S 1	02292	地域看護学	—
※	バイオインフォマティクス	1	4年 S 2	02233	人類遺伝学	—
\$	応用数理	2	4年 S 2	02275	疫学・生物統計学	—
\$	学校保健学	2	4年 S 2	02227	母子保健学	—
\$	環境人間工学	1	4年 S 2	02276	人類生態学	—
#	健康行動の理論と科学	2	4年 S 2	02254	保健管理学	—
\$	公衆衛生倫理	2	4年 S 2	02283	保健管理学	—
\$	小児看護学Ⅱ	2	4年 S 2	02286	家族看護学	—
\$	保健と教育	2	4年 S 2	02294	持ち回り	—
\$	看護理工学	2	4年 S 2	02277	老年看護学	—
#	老年看護学実習	2	4年夏季休業期間	02273	老年看護学	—
#	急性期看護学実習	2	4年 A 1	02253	成人保健・看護学	—
\$	健康空間情報科学	1	4年 A 1	02280	人類生態学	—
\$	社会疫学	1	4年 A 1	02285	保健社会学	—
#	小児看護学実習Ⅱ	1	4年 A 1	02263	家族看護学	—
#	精神看護学実習	1	4年 A 1	02266	精神衛生・看護学	—
#	統合実践実習	1	4年 A 1	02267	家族看護学	—
\$	理論疫学	2	4年 A 1	02295	疫学・生物統計学	—
◎	卒業論文	6	4年通年	02222	各教室	—
\$	専門講義	1	通年	02291	各教室	—



## 【科目名順】医学部 健康総合科学科講義一覧、目次

開講ターム：S1-S1ターム、S2-S2ターム、A1-A1ターム、A2-A2ターム、W-Wターム

※複数タームを通して開講する授業およびタームをまたがって開講する授業は、連続して表示(例:S1S2)

記号:◎ - 共通必修、専修必修(※ - 環境生命科学専修必修、☆ - 公共健康科学専修必修、# - 看護科学専修必修)、\$ - 選択

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
☆	医学データの統計解析	1	3年 A 1	02236	疫学・生物統計学	47
☆	医学データの統計解析実習	1	3年 A 1	02237	疫学・生物統計学	48
\$	医療人類学	1	3年 S 1	02274	人類生態学	29
◎	栄養学	2	3年 S 1	02201	保健栄養学	30
◎	疫学	2	3年 S 1	02202	疫学・生物統計学	31
☆	疫学論文の読み方と書き方	1	3年 A 2	02238	保健社会学	61
\$	応用数理	2	4年 S 2	02275	疫学・生物統計学	—
◎	解剖学	1	2年 A 1	02203	保健栄養学	—
#	解剖示説	1	3年 A 1	02245	老年看護学	51
◎	科学論文・表現技術	1	2年 A 2	02204	保健社会学	—
#	家族と健康	2	3年 A 1	02246	家族看護学	49
\$	学校保健学	2	4年 S 2	02227	母子保健学	—
◎	環境と健康	2	2年 A 2	02205	人類生態学	—
\$	環境人間工学	1	4年 S 2	02276	人類生態学	—
◎	看護学概論	1	2年 A 1	02206	基礎看護学	—
#	看護管理学	1	4年 S 1	02247	基礎看護学	—
#	看護管理学実習	1	4年 S 1	02248	基礎看護学	—
#	看護支援技術論	2	3年 S 2	02249	基礎看護学	41
\$	看護理工学	2	4年 S 2	02277	老年看護学	—
◎	感染症	1	2年 A 1	02207	母子保健学	—
#	基礎看護学 I	2	2年 A 2	02250	基礎看護学	—
\$	基礎看護学 II	2	4年 S 1	02278	基礎看護学	—
#	基礎看護学実習	2	3年 S 2	02251	基礎看護学	42
◎	基礎生命科学	2	2年 A 1	02226	保健栄養学	—
#	救急処置	1	3年 S 1	02252	母性看護学	32
#	急性期看護学実習	2	4年 A 1	02253	成人保健・看護学	—
◎	健康科学調査実習	2	4年 S 1	02208	保健社会学	—
\$	健康教育(職域・地域)	2	3年 A 2	02279	保健社会学	62
\$	健康空間情報科学	1	4年 A 1	02280	人類生態学	—
#	健康行動の理論と科学	2	4年 S 2	02254	保健管理学	—
#	健康支援実習	1	2年 W	02255	老年看護学	—

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
◎	健康心理学	1	2年 A 1	02209	精神衛生・看護学	—
◎	健康総合科学英語 I	1	2年 A 1	02210	教育委員長	—
\$	健康総合科学英語 II	1	3年 A 1	02281	教育委員長	52
◎	健康総合科学概論	1	2年 A 1 A 2	02211	全教室 (学科長)	—
\$	健康増進科学	1	3年 A 1	02282	保健管理学	—
☆	公共健康科学演習 I	1	3年 A 2	02239	疫学・生物統計学	63
☆	公共健康科学演習 II	1	4年 S 1	02240	保健管理学	—
☆#	公共健康科学統合講義 I	2	2年 A 2	02241	保健社会学	—
☆	公共健康科学統合講義 II	2	3年 S 1	02242	精神衛生・看護学	33
\$	公衆衛生倫理	2	4年 S 2	02283	保健管理学	—
◎	国際保健学	1	2年 A 1	02212	人類生態学	—
\$	心の健康トピックス	1	3年 A 2	02284	精神衛生・看護学	67
#	心の健康科学	1	3年 S 2	02256	精神衛生・看護学	43
#	在宅看護学実習	2	3年 A 1 A 2、4年 A 1	02257	地域看護学	59
#	在宅看護論	2	3年 A 1 A 2	02258	地域看護学	60
#	疾病論	2	3年 S 1	02259	老年看護学	34
◎	社会と健康	2	2年 A 2	02213	保健社会学	—
\$	社会疫学	1	4年 A 1	02285	保健社会学	—
#	社会福祉・社会保障論	1	3年 A 2	02260	保健社会学	64
#	小児看護学 I	2	3年 A 2	02261	家族看護学	65
\$	小児看護学 II	2	4年 S 2	02286	家族看護学	—
#	小児看護学実習 I	1	3年 W	02262	家族看護学	73
#	小児看護学実習 II	1	4年 A 1	02263	家族看護学	—
\$	食品安全評価	2	3年 A 1	02287	保健栄養学	—
\$	人口学	1	3年 A 1	02288	人類生態学	53
◎	人類遺伝学 I	1	2年 A 2	02214	人類遺伝学	—
※	人類遺伝学 II	2	3年 A 1	02228	人類遺伝学	54
◎	人類生態学	2	3年 S 1	02215	人類生態学	35
#	精神看護学	2	4年 S 1	02264	精神衛生・看護学	—
#	精神看護学実習	1	4年 A 1	02266	精神衛生・看護学	—
☆#	精神保健学実習	1	3年 S 2	02243	精神衛生・看護学	46
#	成人看護学	2	3年 A 1	02265	成人保健・看護学	55
◎	生物統計学	2	2年 A 1	02216	疫学・生物統計学	—
◎	生物統計学実習	1	3年 S 1	02217	疫学・生物統計学	36
◎	生命・医療倫理 I	2	2年 A 2	02218	保健管理学	—
\$	生命・医療倫理 II	2	3年 A 1	02289	保健管理学	56
◎	生命科学・ゲノム学 I	1	2年 A 2	02219	保健栄養学	—
☆※	生命科学・ゲノム学 II	1	3年 S 1	02229	保健栄養学	37
◎	生命科学実習 I	1	3年 S 2	02220	保健栄養学／母子保健学	44
※	生命科学実習 II	1	3年 S 2	02230	保健栄養学／母子保健学	45

区分 記号	授業科目名	単位	開講ターム	科目番号	担当教室	頁
※	生命環境科学のトピックス	1	2年 A 2	02232	母子保健学	—
※	生命環境科学演習	1	3年 A 2	02231	保健栄養学／母子保健学／ 人類遺伝学／人類生態学	68
◎	生理学	2	2年 A 1	02221	人類生態学	—
\$	ゼミナール	1	2年 A 1 A 2、3年通年	02290	各教室	27
\$	専門講義	1	通年	02291	各教室	—
◎	卒業論文	6	4年通年	02222	各教室	—
\$	地域看護学	2	4年 S 1	02292	地域看護学	—
\$	長期ケア看護学	2	3年 A 2	02293	成人保健・看護学	69
#	統合実践実習	1	4年 A 1	02267	家族看護学	—
※	バイオインフォマティクス	1	4年 S 2	02233	人類遺伝学	—
※#	発生発達学	2	2年 A 1	02234	母子保健学	—
◎	病態疾患論	2	3年 S 1	02223	成人保健・看護学	38
#	ヘルスコミュニケーション学	1	3年 S 1	02268	家族看護学	28
\$	保健と教育	2	4年 S 2	02294	持ち回り	—
※#	母子保健学	2	3年 S 1	02235	母子保健学	39
#	母性看護学	2	3年 A 1	02269	母性看護学	57
#	母性看護学実習	2	3年 A 2 W	02270	母性看護学	72
#	慢性期看護学実習	2	3年 W	02271	成人保健・看護学	75
◎	免疫と生態防御	1	3年 S 1	02224	母子保健学	40
◎	薬理学・毒性学	2	2年 A 2	02225	人類生態学	—
\$	理論疫学	2	4年 A 1	02295	疫学・生物統計学	—
☆	臨床・疫学研究の実例	1	3年 A 1	02244	疫学・生物統計学	58
\$	臨床倫理	2	3年 A 2	02296	保健管理学	70
#	老年看護学	2	3年 A 2	02272	老年看護学	71
#	老年看護学実習	2	4年夏季休業期間	02273	老年看護学	—

## 共通必修・専修必修・選択科目名一覧

### 共通必修科目

健康総合科学概論
科学論文・表現技術
健康総合科学英語 I
解剖学
薬理学・毒性学
栄養学
生理学
生命科学・ゲノム学 I
人類遺伝学 I
生命科学実習 I
免疫と生態防御
環境と健康
疫学
生物統計学
生物統計学実習
国際保健学
人類生態学
社会と健康
生命・医療倫理 I
健康心理学
健康科学調査実習
感染症
病態疾患論
看護学概論
基礎生命科学（文系必修）
学校保健学（教職必修）
卒業論文

合計単位数 41 単位（文系出身の場合は 43 単位）

教職選択の場合にはそれぞれプラス 2 単位

「基礎生命科学」は文系必修であるが理系出身者も必ず履修すること

## 専修必修科目

環境生命科学専修 (11 単位)	公共健康科学専修 (12 単位)
生命環境科学のトピックス	疫学論文の読み方と書き方
生命科学・ゲノム学 II	生命科学・ゲノム学 II
人類遺伝学 II	医学データの統計解析
バイオインフォマティクス	医学データの統計解析実習
生命科学実習 II	臨床・疫学研究の実例
生命環境科学演習	精神保健学実習
母子保健学	公共健康科学統合講義 I
発生発達学	公共健康科学統合講義 II
	公共健康科学演習 I
	公共健康科学演習 II

看護科学専修 (53 単位)	
母子保健学	ヘルスコミュニケーション学
発生発達学	看護管理学
社会福祉・社会保障論	家族と健康
解剖示説	小児看護学 I
心の健康科学	健康支援実習
精神保健学実習	基礎看護学実習
公共健康科学統合講義 I	小児看護学実習 I
健康行動の理論と科学	小児看護学実習 II
疾病論	母性看護学実習
救急処置	精神看護学実習
基礎看護学 I	老年看護学実習
母性看護学	在宅看護学実習
看護支援技術論	急性期看護学実習
在宅看護論	慢性期看護学実習
精神看護学	統合実践実習
老年看護学	看護管理学実習
成人看護学	

「発生発達学」は公共健康科学専修では選択科目であるが必ず履修すること

## 選択科目

健康総合科学英語 II
環境人間工学
食品安全評価
健康空間情報科学
社会疫学
理論疫学
応用数理
人口学
医療人類学
生命・医療倫理 II
心の健康トピックス
臨床倫理
公衆衛生倫理
基礎看護学 II
看護理工学
長期ケア看護学
小児看護学 II
地域看護学
健康増進科学
健康教育（職域・地域）
保健と教育
ゼミナール
専門講義

選択科目は自身が所属する専修以外の専修必修科目からも選択できる

各専修における必要選択単位数は以下の通りである

環境生命科学専修	16 単位以上
公共健康科学専修	15 単位以上
看護科学専修	要件なし

平成 29 年度 医学部健康総合科学科 3 年生 (新カリ) 講義日程表

3 年生 S1 8 週【4/5(水)-6/2(金)】

	1 限 (8:30-10:15)	2 限 (10:25-12:10)	3 限 (13:00-14:45)	4 限 (14:55-16:40)	5 限 (16:50-18:35)
月	病態疾患論／疾病論*				
火	人類生態学		免疫と生体防御**	救急処置***	
水	ヘルスコミュニケーション学	生命科学・ゲノム学 II	生物統計学実習		
木	公共健康科学統合講義 II				
金	病態疾患論／疾病論*		母子保健学		

\* : 病態疾患論 : 4 月 7 日 (金)、4 月 10 日 (月)、4 月 14 日 (金)、4 月 17 日 (月)、4 月 21 日 (金)、4 月 24 日 (月)、4 月 28 日 (金)

疾病論 : 5 月 8 日 (月)、5 月 12 日 (金)、5 月 15 日 (月)、5 月 19 日 (金)、5 月 22 日 (月)、5 月 26 日 (金)、5 月 29 日 (月) 2 限のみ、  
6 月 2 日 (金) 2 限のみ

\*\* : 4 月 18 日 (火) のみ 3 限・4 限 (免疫と生体防御) 5 限 なし \*\*\* : 4 月 25 日 (火) のみ 3・4・5 限 (救急処置)

\*\*\* : 4 月 5 日 (水) の 5 限に、精神保健学実習の説明会を行う

3 年生 S2 8 週【6/5(月)-7/31(月)】

全必修

生命科学実習 (I) 1 週間

環境生命科学専修必修

生命科学実習 (II) 1 週間

看護科学専修必修

心の健康科学 (集中講義) 1 週間

公共健康科学・看護科学専修必修

精神保健学実習 1 週間

看護科学専修必修

看護支援技術論 (集中講義) 1 週間

基礎看護学実習 2 週間

3年生 A1 8週【9/25(月)・11/17(金)】

公共健康科学・環境生命科学専修

	1限 (8:30-10:15)	2限 (10:25-12:10)	3限 (13:00-14:45)	4限 (14:55-16:40)	5限 (16:50-18:35)
月	家族と健康	人口学	生命・医療倫理 II	解剖示説*	
火		人類遺伝学 II	臨床・疫学研究の実例	成人看護学	母性看護学**
水		母性看護学**		成人看護学	健康総合科学英語 II
木		医学データの統計解析		医学データの統計解析実習	ゼミナール
金					

\* : 7月末にガイダンス、医学科エレクトラの日程確認 (例年より遅い可能性あり)

\*\* : 2回 (9/3、10/10) のみ火曜日 5限に実施。初日 (9/28) の授業での日程確認のこと。

看護科学専修

	1限 (8:30-10:15)	2限 (10:25-12:10)	3限 (13:00-14:45)	4限 (14:55-16:40)	5限 (16:50-18:35)
月	家族と健康	人口学	生命・医療倫理 II	解剖示説*	
火		人類遺伝学 II	臨床・疫学研究の実例	成人看護学	母性看護学**
水		母性看護学**		成人看護学	健康総合科学英語 II
木		母性看護学実習 / 在宅看護論 / 在宅看護学実習		成人看護学	ゼミナール
金					

\* : 7月末にガイダンス、医学科エレクトラの日程確認 (例年より遅い可能性あり)

\*\* : 2回のみ火曜日 5限に実施。初日の授業での日程確認のこと。



3年生 A2 8週【11/20(月)-1/26(金)】

公共健康科学・環境生命科学専修

	1限 (8:30-10:15)	2限 (10:25-12:10)	3限 (13:00-14:45)	4限 (14:55-16:40)	5限 (16:50-18:35)
月		社会福祉・社会保障論	小児看護学 I		
火		心の健康トピックス	疫学論文の読み方と書き方	老年看護学	
水	健康教育 (職域・地域)		臨床倫理		
木	長期ケア看護学		公共健康科学演習 I		ゼミナール
金	生命環境科学演習				

\* : 12月18日(月)と12月25日(月)の社会福祉・社会保障論は、1限と2限に行う

看護科学専修

	1限 (8:30-10:15)	2限 (10:25-12:10)	3限 (13:00-14:45)	4限 (14:55-16:40)	5限 (16:50-18:35)
月		社会福祉・社会保障論	小児看護学 I		
火		心の健康トピックス	疫学論文の読み方と書き方	老年看護学	
水	健康教育 (職域・地域)		臨床倫理		
木	長期ケア看護学		公共健康科学演習 I		ゼミナール
金	母性看護学実習 / 在宅看護論 / 在宅看護学実習				

\* : 12月18日(月)と12月25日(月)の社会福祉・社会保障論は、1限と2限に行う

3年生 W 5週【1/29(月) -3/7(水)】

慢性期看護学実習	2週間	看護科学専修必修
小児看護学実習 I (保育所)	1週間	看護科学専修必修
母性看護学実習 (病棟)	1週間	看護科学専修必修

# H29年度 3年生 講義日程

S1ターム 4月5日(水)ー6月2日(金)

S2ターム 6月5日(月)ー7月31日(月)

			午前			午後						午前			午後		
月	日	曜	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30		月	日	曜	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30	
4	3	月	進学ガイダンス						6	5	月	①	生命科学実習 I				
	4	火						6		火	①	生命科学実習 I					
	5	水	①	ヘルスコミュニケーション学	生命科学・ゲノム学Ⅱ	生物統計学実習		精神保健学実習説明会		7	水	①	生命科学実習 I				
	6	木	①	公共健康科学統合講義Ⅱ		栄養学	ゼミナール			8	木	①	生命科学実習 I				
	7	金	①	病態疾患論		母子保健学	医療人類学			9	金	①	生命科学実習 I				
	10	月	①	病態疾患論		疫学				12	月	②	生命科学実習Ⅱ				
	11	火	①	人類生態学	免疫と生体防御	救急処置				13	火	②	生命科学実習Ⅱ				
	12	水		休講(創立記念日)						14	水	②	生命科学実習Ⅱ				
	13	木	②	公共健康科学統合講義Ⅱ		栄養学	ゼミナール			15	木	②	生命科学実習Ⅱ				
	14	金	②	病態疾患論		母子保健学	医療人類学			16	金	②	生命科学実習Ⅱ				
	17	月	②	病態疾患論		疫学				19	月	③	心の健康科学(集中講義)				
	18	火	②	人類生態学	免疫と生体防御					20	火	③	心の健康科学(集中講義)				
	19	水	②	ヘルスコミュニケーション学	生命科学・ゲノム学Ⅱ	生物統計学実習				21	水	③	心の健康科学(集中講義)				
	20	木	③	公共健康科学統合講義Ⅱ		栄養学	ゼミナール			22	木	③	心の健康科学(集中講義)				
	21	金	③	病態疾患論		母子保健学	医療人類学			23	金	③	心の健康科学(集中講義)				
	24	月	③	病態疾患論		疫学				26	月	④	精神保健学実習				
	25	火	③	人類生態学	免疫と生体防御	救急処置				27	火	④	精神保健学実習				
	26	水	③	ヘルスコミュニケーション学	生命科学・ゲノム学Ⅱ	生物統計学実習				28	水	④	精神保健学実習				
	27	木	④	公共健康科学統合講義Ⅱ		栄養学	ゼミナール			29	木	④	精神保健学実習				
	28	金	④	病態疾患論		母子保健学	医療人類学			30	金	④	精神保健学実習				
	1	月	④			疫学				3	月	⑤	看護支援技術論(集中講義)				
	2	火	④	人類生態学	免疫と生体防御	救急処置				4	火	⑤	看護支援技術論(集中講義)				
	3	水		祭日						5	水	⑤	看護支援技術論(集中講義)				
	4	木		祭日						6	木	⑤	看護支援技術論(集中講義)				
	5	金		祭日						7	金	⑤	看護支援技術論(集中講義)				
	8	月	⑤	疾病論	疫学					10	月	⑥					
	9	火	⑤	人類生態学	免疫と生体防御	救急処置				11	火	⑥					
	10	水	④	ヘルスコミュニケーション学	生命科学・ゲノム学Ⅱ	生物統計学実習				12	水	⑥					
11	木	⑤	公共健康科学統合講義Ⅱ		栄養学	ゼミナール		13	木	⑥							
12	金	⑤	疾病論	休講				14	金	⑥							
15	月	⑥	疾病論	疫学				17	月		祭日						
16	火	⑥	人類生態学	免疫と生体防御	救急処置			18	火	⑦	基礎看護学実習						
17	水	⑤	ヘルスコミュニケーション学	生命科学・ゲノム学Ⅱ	生物統計学実習			19	水	⑦	基礎看護学実習						
18	木	⑥	公共健康科学統合講義Ⅱ		栄養学	ゼミナール		20	木	⑦	基礎看護学実習						
19	金	*1	疾病論	母子保健学	医療人類学			21	金	⑦	基礎看護学実習						
22	月	⑦	疾病論	疫学				24	月	⑦	基礎看護学実習						
23	火	⑦	人類生態学	免疫と生体防御	救急処置			25	火	⑧	基礎看護学実習						
24	水	⑥	ヘルスコミュニケーション学	生命科学・ゲノム学Ⅱ	生物統計学実習			26	水	⑧	基礎看護学実習						
25	木	⑦	公共健康科学統合講義Ⅱ		栄養学	ゼミナール		27	木	⑧	基礎看護学実習						
26	金	*2	疾病論	母子保健学	医療人類学			28	金	⑧	基礎看護学実習						
29	月	⑧	疾病論					31	月	⑧							
30	火	*3			救急処置												
31	水	⑦	ヘルスコミュニケーション学	生命科学・ゲノム学Ⅱ	生物統計学実習												
1	木	⑧															
2	金	⑧	疾病論	母子保健学	医療人類学												

\*1:AM⑥ PM⑤ \*2:AM⑦ PM⑥ \*3:AM⑧ PM⑦

試験期間

# H29年度 3年生 講義日程

A1ターム 9月25日(月)～11月17日(金)

A2ターム 11月20日(月)～1月26日(金)

		午前			午後					午前			午後				
月	日	曜	週	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30	月	日	曜	週	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30
9	25	月	①	家族と健康	生命医療倫理Ⅱ	解剖示説			10	2	月	②	家族と健康	生命医療倫理Ⅱ	解剖示説		
	26	火	①	人口学	臨床・疫学研究の実例					3	火	②	人口学	臨床・疫学研究の実例	母性看護学		
	27	水	①	人類遺伝学Ⅱ	成人看護学	健康総合科学英語Ⅱ				4	水	②	人類遺伝学Ⅱ	成人看護学	健康総合科学英語Ⅱ		
	28	木	①	母性看護学		ゼミナール				5	木	②	母性看護学		ゼミナール		
	29	金	①	医学データ統計解析/母性看護学実習	医学データ統計解析実習/母性看護学実習					6	金	②	医学データ統計解析/母性看護学実習	医学データ統計解析実習/母性看護学実習			
	9月 振替休日																
10	10	火	③	人口学	臨床・疫学研究の実例			母性看護学	11	27	月	*1	休講(駒場祭)	小児看護学Ⅰ			
	11	水	③	人類遺伝学Ⅱ	成人看護学	健康総合科学英語Ⅱ				28	火	②	心の健康トピックス	疫学論文の読み方と書き方	老年看護学		
	12	木	③	母性看護学		ゼミナール				29	水	②	健康教育(職域・地域)	臨床倫理			
	13	金	③	医学データ統計解析/母性看護学実習	医学データ統計解析実習/母性看護学実習					30	木	①	長期ケア看護学	公共健康科学演習Ⅰ	ゼミナール		
	16	月	③	家族と健康	生命医療倫理Ⅱ	解剖示説				1	金	①	生命環境科学演習/在宅看護学実習				
	17	火	④	人口学	臨床・疫学研究の実例			母性看護学		4	月	*2	社会福祉・社会保険論	小児看護学Ⅰ			
	18	水	④	人類遺伝学Ⅱ	成人看護学	健康総合科学英語Ⅱ				5	火	③	心の健康トピックス	疫学論文の読み方と書き方	老年看護学		
	19	木	④	母性看護学		ゼミナール				6	水	③	健康教育(職域・地域)	臨床倫理			
	20	金	④	医学データ統計解析/母性看護学実習	医学データ統計解析実習/母性看護学実習					7	木	②	長期ケア看護学	公共健康科学演習Ⅰ	ゼミナール		
	23	月	④	家族と健康	生命医療倫理Ⅱ	解剖示説				8	金	②	生命環境科学演習/在宅看護論				
	24	火	⑤	人口学	臨床・疫学研究の実例			母性看護学		11	月	*3	社会福祉・社会保険論	小児看護学Ⅰ			
25	水	⑤	人類遺伝学Ⅱ	成人看護学	健康総合科学英語Ⅱ			12	火	④	心の健康トピックス	疫学論文の読み方と書き方	老年看護学				
26	木	⑤	母性看護学		ゼミナール			13	水	④	健康教育(職域・地域)	臨床倫理					
27	金	⑤	医学データ統計解析/母性看護学実習	医学データ統計解析実習/母性看護学実習				14	木	③	長期ケア看護学	公共健康科学演習Ⅰ	ゼミナール				
30	月	⑤	家族と健康	生命医療倫理Ⅱ	解剖示説			15	金	③	生命環境科学演習/在宅看護学実習						
31	火	⑥	人口学	臨床・疫学研究の実例			母性看護学	18	月	*4	社会福祉・社会保険論	社会福祉・社会保険論	小児看護学Ⅰ				
1	水	⑥	人類遺伝学Ⅱ	成人看護学	健康総合科学英語Ⅱ			19	火	⑤	心の健康トピックス	疫学論文の読み方と書き方	老年看護学				
2	木	⑥	母性看護学		ゼミナール			20	水	⑤	健康教育(職域・地域)	臨床倫理					
3	金			祭日					21	木	④	長期ケア看護学	公共健康科学演習Ⅰ	ゼミナール			
6	月	⑥	家族と健康	生命医療倫理Ⅱ	解剖示説			22	金	④	生命環境科学演習/在宅看護論						
7	火	⑦	人口学	臨床・疫学研究の実例			母性看護学	25	月	*5	社会福祉・社会保険論	社会福祉・社会保険論	小児看護学Ⅰ				
8	水	⑦	人類遺伝学Ⅱ	成人看護学	健康総合科学英語Ⅱ			26	火	金⑤	生命環境科学演習/在宅看護論						
9	木	⑦	母性看護学		ゼミナール			27	水	木⑤	長期ケア看護学	公共健康科学演習Ⅰ	ゼミナール				
10	金	⑥	医学データ統計解析/在宅看護学論	医学データ統計解析実習/在宅看護学論				28	木		休講(年末)						
13	月	⑦	家族と健康	生命医療倫理Ⅱ	解剖示説			29	金		休講(年末)						
14	火	金⑦	医学データ統計解析/在宅看護学実習	医学データ統計解析実習/在宅看護学実習				1	月		祭日						
15	水	⑧						2	火		休講(年始)						
16	木	⑧						3	水		休講(年始)						
17	金	⑧						4	木		休講(年始)						
								5	金	⑥	生命環境科学演習/在宅看護学実習						
								8	月		祭日						
								9	火	⑥	心の健康トピックス	疫学論文の読み方と書き方	老年看護学				
								10	水	⑥	健康教育(職域・地域)	臨床倫理					
								11	木	⑥	長期ケア看護学	公共健康科学演習Ⅰ	ゼミナール				
								12	金		休講						
								15	月	*6		小児看護学Ⅰ					
								16	火	⑦	心の健康トピックス	疫学論文の読み方と書き方	老年看護学				
								17	水	⑦	健康教育(職域・地域)	臨床倫理					
								18	木	⑦	長期ケア看護学	公共健康科学演習Ⅰ	ゼミナール				
								19	金	⑦	生命環境科学演習/在宅看護論(午前のみ)						
								22	月	*7							
								23	火	⑧							
								24	水	⑧							
								25	木	⑧							
								26	金	⑧							

- \*1:PM②
- \*2:AM②, PM③
- \*3:AM③, PM④
- \*4:AM④, PM⑤
- \*5:AM⑤, PM⑥
- \*6:AM⑥, PM⑦
- \*7:AM⑦, PM⑧

金曜日の講義: 公共健康専修・環境生命専修は「医学データの統計解析および実習」「生命環境科学演習」

看護学専修は「在宅看護論・在宅看護学実習」「母性看護学実習(外来)」

試験期間

# H29年度 3年生 講義日程

Wターム 1月29日(月)～3月7日(水)

				午前		午後			
月	日	曜	週	8:30-10:15	10:25-12:10	13:00-14:45	14:55-16:40	16:50-18:30	
1	29	月	①	慢性期看護学実習					
	30	火	①	慢性期看護学実習					
	31	水	①	慢性期看護学実習					
2	1	木	①	慢性期看護学実習					
	2	金	①	慢性期看護学実習					
	5	月	②	慢性期看護学実習					
	6	火	②	慢性期看護学実習					
	7	水	②	慢性期看護学実習					
	8	木	②	慢性期看護学実習					
	9	金	②	慢性期看護学実習					
	12	月		祭日					
	13	火	③						
	14	水	③						
	15	木	③						
	16	金	③						
19	月	③	母性看護学実習(病棟)						
20	火	④	母性看護学実習(病棟)						
21	水	④	母性看護学実習(病棟)						
22	木	④	母性看護学実習(病棟)						
23	金		休講(前期試験準備)、ただし 母性看護学実習(病棟)は有り						
26	月		休講(前期試験)						
27	火	⑤	小児看護学実習						
28	水	⑤	小児看護学実習						
3	1	木	⑤	小児看護学実習					
	2	金	④	小児看護学実習					
	5	月	④	小児看護学実習					
	6	火	金⑤						
	7	水	月⑤						



平成29年度  
医学部健康総合科学科  
《新カリ3年生用》  
～講義内容～





<b>02290</b>	<b>ゼミナール</b>		<b>選択</b>
単位数	1	責任教員	教育委員長
開講ターム	3年通年	開講期間	通年(2017/04/01-2018/03/31)
曜日・時限	木(Thu)5 [16:50-18:35]		
科目担当	山本 則子		
目標・概要	<p>必修・選択科目以外で学部教育に必要と思われる特別講義・演習・実習などを教員あるいは学生の要望により開講することができる。</p> <p>開講希望者は、教育委員長まで連絡すること。</p>		
授業計画	ゼミナールの開催に応じて、適宜連絡する。		
授業の方法	開講担当教員に一任する。		
成績評価方法	開講担当教員に一任する。		
教科書			
参考書			
履修上の注意			
開講場所等			
メールアドレス			
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

02268	ヘルスコミュニケーション学		看護科学専修必修
単位数	1	責任教員	上別府 圭子
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	水 (Wed)1 [08:30-10:15]		
科目担当	上別府 圭子, キタ 幸子, 佐藤 伊織, 副島 堯史		
目標・概要	医療・保健の場において、ケアの提供者、ケアの受け手、社会の人々が知識や情報を正確に効率よく伝達するための理論や方法論を学ぶ。対人だけでなくマスメディアやインターネットを介したコミュニケーションについても理解を深める。援助関係を含む様々な場での言語的・非言語的コミュニケーションの役割について学習する。		
授業計画	4月5日(水) コミュニケーション論 4月19日(水) 疾患、検査、治療の説明 4月26日(水) コミュニケーションの発達 5月10日(水) コミュニケーションとアセスメント 5月17日(水) 患者間のコミュニケーション 5月24日(水) 子ども・高齢者のコミュニケーション 5月31日(水) 公衆衛生上のヘルスコミュニケーション ※ 場所と日程は変更する可能性がある		
授業の方法	講義と演習		
成績評価方法	出席点と受講態度、演習への参加状況、及びレポートから評価を行なう (出席して授業に参加することの比重を大きくするため、単位取得を要する場合は必ず連続して出席すること) 演習による体験が学習の中心であるため、遅刻及び退出の場合は出席と認めない場合がある		
教科書			
参考書	上別府圭子(編著). サイコセラピューティックな看護. 金剛出版. 2007 土居健郎. 新訂 方法としての面接. 医学書院. 1992 上野里絵. お母さん、お父さんどうしたのかな? 〈こころの病気を抱える親をもつ子ども〉のハンドブック. 東京大学出版会. 2016 上野里絵. お子どもにどうしてあげればいいのか? 〈こころの病気を抱える親〉のハンドブック. 東京大学出版会. 2016 Debra L. Roter & Judith A. Hall 著. 石川ひろの、武田裕子訳. 患者と医師のコミュニケーション—より良い関係作りの科学的根拠. 篠原出版新社. 2007 杉本なおみ: 改訂医療者のためのコミュニケーション入門. 精神看護出版. 2013.		
履修上の注意	小児看護学実習 I の履修は、本講義を履修していることが条件である		
開講場所等	医学部 3号館 N101		
メールアドレス			
研究室電話番号	23694		
ホームページ	<a href="http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		
その他			

02274	医療人類学		選択
単位数	1	責任教員	梅崎 昌裕
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	金 (Fri)5 [16:50-18:35]		
科目担当	梅崎 昌裕		
目標・概要	近代医学によって診断される「病気」は、全ての社会で「病気」とみなされるわけではない。逆に、近代医学では「健康」だと診断される人が、社会によっては「病気」だと考えられていることもある。医療人類学は、このような現象を理解するための学問体系である。本講義では、医療人類学の論文・単行本を教材に、教員とディスカッションを行うことにより、医学における医療人類学の意義を理解することを目標とする。		
授業計画	<p>講師：</p> <p>梅崎昌裕 (健康総合科学科・人類生態学)</p> <p>卯田宗平 (国立民族学博物館)</p> <p>田所聖志 (秋田大学)</p> <p>4月7日      オリエンテーション 身体観：病が治癒するというイメージ</p> <p>4月14日      文化相対主義：文化的行動はどこまでゆるされるか</p> <p>4月21日      リスク論：生牡蠣を食べて輸入牛をたべないという理不尽な行動</p> <p>4月28-30日 千葉県勝山市における集中講義・フィールドワーク実習 文化による「病」のとらえ方，プラセボ効果：病は気から？，狂気は異常か，呪術・民間療法，血の汚れ：ニューギニア高地の健康観</p> <p>単位が必要にもかかわらず集中講義・フィールドワーク実習に参加できない学生には、5月12日、19日、26日に補講を実施します。</p>		
授業の方法	医療人類学のキー概念を講義した上で、それに関連した教材をつかった問題の整理をおこなう。さらにグループごとに課題研究を実施し、その成果のプレゼンテーション・議論をおこなう。初回にオリエンテーションをしますので、それに参加した上で履修するかどうか決めてください。		
成績評価方法	毎回の講義の予習、教材の精読、レポート、最終試験を総合的に判断する。		
教科書	波平恵美子『医療人類学入門』（朝日新聞社）		
参考書			
履修上の注意	遅刻・無断欠席をしないこと。		
開講場所等	医学部3号館S106		
メールアドレス	omezaki@humeco.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号			
ホームページ	<a href="http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/individuals/omezaki/MedAnth.html">http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/individuals/omezaki/MedAnth.html</a>		
その他			

02201	栄養学		共通必修
単位数	2	責任教員	渡邊 洋一
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	木(Thu)3 [13:00-14:45], 木(Thu)4 [14:55-16:40]		
科目担当	渡邊 洋一		
目標・概要	栄養学の基本的な事項と特色及び栄養学の基礎を理解する。食品の成分組成、栄養所要量、エネルギー代謝、生活習慣病などを扱う。		
授業計画	<p>【授業スケジュール】</p> <p>&lt;教室&gt; 医学部3号館N101</p> <p>&lt;時間&gt; 13:00～16:40</p> <p>総論、糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、日本人の栄養摂取基準、生活習慣病(順不同)</p>		
授業の方法	プリントとスライドを用いた講義		
成績評価方法	出席とレポート		
教科書			
参考書	第一回の講義にて紹介		
履修上の注意	出席はレポート提出の前提となるので注意する事		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	ywatanab@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3526		
ホームページ			
その他			

02202	<b>疫学</b>		<b>共通必修</b>
単位数	2	責任教員	松山 裕
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	月 (Mon)3 [13:00-14:45], 月 (Mon)4 [14:55-16:40]		
科目担当	松山 裕		
目標・概要	<p>疫学 (Epidemiology) は、健康・疾病に関する事象を集団の中で計量的に捉え、これらの原因や影響因子とその強さを評価し、最終的には予防手段につなげる実践の学問です。疫学は、古くは感染症の疫学から始まり、がん・循環器疾患などの生活習慣病の疫学にその研究テーマが移ってきましたが、昨今では感染症に関する問題も再びクローズアップされ始めています。</p> <p>本講義では、疫学の基礎を学び、人間集団を対象とする医学・公衆衛生の研究に対応できる知識と技能を身につけることを目標とする。</p>		
授業計画	<p>4月10日 (松山) 疫学? 疾病発生の測定 (カプランマイヤー曲線を含む)</p> <p>4月17日 (松山) 疫学研究のデザイン: ランダム化比較試験、コホート研究、ケース・コントロール研究</p> <p>4月24日 (村上) 疫学研究の実施と解釈 (倫理指針含) 公共政策と疫学 (予防指標)</p> <p>5月1日 (松山) 疫学研究に潜むバイアス 交絡バイアスの調整</p> <p>5月8日 (村上) メタアナリシス、地域相関研究 保健統計 (平均余命など)</p> <p>5月15日 (山本) 大規模疫学研究の実際</p> <p>5月22日 (今井) 薬剤疫学とその応用研究</p>		
授業の方法	講義形式		
成績評価方法	毎回の小テスト (20%) + 本試験 (80%)		
教科書	教科書は指定しないが、毎回の講義資料をよく理解すること。 理解を助けるために、参考書は指定する。		
参考書	Leon Gordis (著), 木原正博 (翻訳), 木原雅子 (翻訳), 加治正行 (翻訳): 疫学 - 医学的研究と実践のサイエンス. メディカル・サイエンス・インターナショナル ( <a href="https://www.medsj.co.jp/books/products/detail.php?product_id=3156">https://www.medsj.co.jp/books/products/detail.php?product_id=3156</a> ) .		
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	shinozaki@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	23520		
ホームページ	<a href="http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		
その他			

02252	救急処置		看護科学専修必修
単位数	1	責任教員	春名 めぐみ
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	火 (Tue)4 [14:55-16:40], 火 (Tue)5 [16:50-18:35]		
科目担当	春名 めぐみ, 笹川 恵美, 米澤 かおり		
目標・概要	災害などを含めた救急場面に際しての基本的な考え方、緊急度の判断を教授し、救急医療システムを理解するとともに、救急場面で、その時、その場の人的・物的資源を最大限に生かす対処方法について講義と演習を通して学ぶ。また、具体的な救急時のバイタルサイン（呼吸、脈拍、血圧、意識レベル）の観察・測定、出血の処置、救急中毒の対処法、熱傷の処置、搬送法、救急処置法について学ぶ。		
授業計画	<p>4月11日（火）14:55-18:35（医学部5号館315室）</p> <p>救急医療と災害時の医療システム，救急看護・災害看護の概要 春名， 出血の処置、急性中毒，熱傷 笹川・米澤</p> <p>4月25日（火）13:00-18:35（東大病院中央診療棟2 7F大会議室）</p> <p>救急時の観察・トリアージ，救急蘇生，AED（演習を含む）佐藤</p> <p>5月2日（火）14:55-18:35（医学部5号館汎用実習室201号室）</p> <p>出血の処置、急性中毒、熱傷（演習）</p> <p>まとめ&amp;試験教員全員</p>		
授業の方法	講義および演習を行う。		
成績評価方法	出席とテストにより評価する。		
教科書			
参考書	<p>山勢博彰他．系統看護学講座 別巻 救急看護学【第5版】医学書院、2013.</p> <p>内藤裕史．中毒110番情報．東京図書，1986.</p>		
履修上の注意	<p>出席が3分の2に満たない場合または、4月25日の演習に欠席した場合、単位を取得できない。</p> <p>また、正当な理由なき遅刻及び退出が30分を超えた場合には、当該講義コマは欠席扱いとする。</p> <p>4月25日と5月2日は救急蘇生を含む演習を行うため、運動しやすい服装（ジャージなどのズボンとし、上着は胸元がしまっているもの）を着用し、爪をみじかくしてくること。</p>		
開講場所等			
メールアドレス	mharuna@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3396（内線：23396）		
ホームページ	<a href="http://midwifery.m.u-tokyo.ac.jp/">http://midwifery.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		
その他			

02242	公共健康科学統合講義 II		公共健康科学専修
単位数	2	責任教員	川上 憲人
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	木 (Thu)1 [08:30-10:15], 木 (Thu)2 [10:25-12:10]		
科目担当	川上 憲人		
目標・概要	<p>本授業科目では、公共健康科学統合講義 I に引き続き、公衆衛生学の考え方、制度やサービス、今日のトピックスについて総論・各論の授業を行う。特に公衆衛生の基礎概念である健康と障がいについて再度その意味を確認する。母子および児童・思春期の健康、産業保健、精神保健について体系的に学ぶ。公衆衛生学倫理学、世界の疾病負担など今日の公衆衛生の最新トピックスを理解する。公共健康科学統合講義 I と合わせて、公衆衛生学を体系的に理解し、またその課題について分析し対策を立案することを通じて、公衆衛生学の本質をより深く理解する機会を提供する。</p>		
授業計画	<p>4月6日                    1限 ガイダンス・総論1 健康とその概念                               2限 総論2 障害とインクルージョン</p> <p>4月13日                   1限 母子の健康                               2限 思春期の健康</p> <p>4月20日                   1限 産業保健1 制度と労働安全衛生管理体制                               2限 産業保健2 職業性疾病と作業環境管理・作業管理</p> <p>4月27日                   1限 産業保健3 健康管理、メンタルヘルス                               2限 産業保健4 健康経営</p> <p>5月11日                   1限 公衆衛生倫理学                               2限 世界の疾病負担</p> <p>5月18日                   1限 精神保健1 歴史、制度、統計                               1限 精神保健2 災害・国際精神保健</p> <p>5月25日                   1、2限 学生による発表</p>		
授業の方法	<p>担当教員あるいは外部講師が講義を行い、質疑を行って理解を深める。</p> <p>学生はそれぞれ関心のある公衆衛生上の課題を1つ選び、これについて授業を通じて得た知識、あるいは自ら調べた情報をもとに課題を分析・整理し、最終日の1、2限に発表する。</p>		
成績評価方法	出席 (30%)、最終日の発表 (30%)、レポート (40%) による。		
教科書	指定しない。		
参考書	社会を変える健康のサイエンス：健康総合科学への21の扉、東大出版会 (2016)		
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	kawakami@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3521		
ホームページ			
その他			

02259	疾病論		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	真田 弘美
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	金 (Fri)1 [08:30-10:15], 金 (Fri)2 [10:25-12:10]		
科目担当	真田 弘美		
目標・概要	将来、健康関連の実務および研究者・教育者として活躍することを目指す学生が、臨床医学を理解するために必要な基礎的知識および思考過程を学ぶ。また、看護実践に必要な薬剤学を理解する。		
授業計画	日付	時間	講義名
	5月8日(月)	8:30～9:20	外科的治療概論
	5月8日(月)	9:25～10:15	放射線医学概論－診断から治療まで 放射線診断学・核医学・放射線治療学
	5月8日(月)	10:30～11:05	消化器疾患の病態、自然経過と治療 一肝・胆・膵・移植－
	5月8日(月)	11:15～12:05	手術麻酔
	5月12日(金)	8:30～9:30	消化器疾患の病態、自然経過と治療－消化管
	5月12日(金)	9:40～10:15	消化器疾患の病態、自然経過と治療 一肝・胆・膵・移植－
	5月12日(金)	10:20～10:55	消化器疾患の病態、自然経過と治療 一肝・胆・膵・移植－
	5月12日(金)	10:55～11:30	消化器疾患の病態、自然経過と治療 一肝・胆・膵・移植－
	5月12日(金)	11:35～12:15	呼吸器外科疾患の病態、自然経過と治療
	5月15日(月)	8:30～9:40	心臓外科疾患の病態、自然経過と治療
	5月15日(月)	9:50～11:00	循環器疾患の病態、自然経過と治療
	5月15日(月)	11:10～12:10	乳腺疾患の病態、自然経過と治療
	5月19日(金)	8:30～9:40	呼吸器内科疾患の病態、自然経過と治療
	5月19日(金)	9:50～11:00	術前術後の管理
	5月19日(金)	11:10～12:10	アレルギー・リウマチ疾患の病態、自然経過と治療病態
	5月22日(月)	8:30～9:20	代謝・内分泌疾患(糖尿病)の病態、自然経過と治療病態
	5月22日(月)	9:25～10:15	腎疾患の病態、自然経過と治療
	5月22日(月)	10:20～11:10	泌尿器疾患の病態、自然経過と治療
	5月22日(月)	11:15～12:05	眼疾患の病態、自然経過と治療
	5月26日(金)	8:30～9:20	神経内科疾患の病態、自然経過と治療
	5月26日(金)	9:25～10:15	脳神経外科疾患の病態、自然経過と治療
	5月26日(金)	10:20～11:10	耳鼻咽喉科疾患の病態、自然経過と治療
	5月26日(金)	11:15～12:05	骨・関節疾患の病態、自然経過と治療
	5月29日(月)	10:25～12:10	看護薬剤学
	6月2日(金)	10:25～11:55	試験
授業の方法	講義		
成績評価方法	試験(2/3以上の出席により受験資格を得られる。)		
教科書			
参考書			
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	仲上 (gojiron-tky@umin.ac.jp)		
研究室電話番号	23424		
ホームページ			
その他			



02215	人類生態学		共通必修
単位数	2	責任教員	梅崎 昌裕
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	火 (Tue)1 [08:30-10:15], 火 (Tue)2 [10:25-12:10]		
科目担当	梅崎 昌裕, 小西 祥子, 小坂 理子		
目標・概要	生態学は生物と環境との相互作用を扱う科学であり、そこで扱われる中心的な課題は、与えられた環境の中で、生物集団がいかなる戦略・しくみをもって生き延びているかということである。人類生態学は人間の生態学であるが、ヒトの生物学的特徴に加え、文化の存在によって、従来の動物・植物の生態学とはかなり異なる分野として整備されつつある。本講義では、まず文化の存在を取り入れた人間生態系という概念を解説し、この概念が、健康・人口・環境にかかわる現代的問題の理解にとっていかに重要であるのかを検討する。例えば、人口・食糧・水・資源・地球環境などのキーワードで表される領域の課題は、生態系というキーワードを介して相互に密接に結びついている。講義・ディスカッションを通して、健康科学の領域における生態学的な考え方の重要性を理解することが目標である。		
授業計画	<p>4月11日 人間生態系とは何か／適応のとらえかた (梅崎)</p> <p>4月18日 人類集団の多様性と進化 (梅崎)</p> <p>4月25日 社会と生業 (梅崎)</p> <p>5月2日 行動と活動の把握と生態学 (梅崎)</p> <p>5月9日 栄養転換／微量栄養素と健康 (小坂)</p> <p>5月16日 人口転換／出生の生物人口学 (小西)</p> <p>5月23日 現代の人口問題／環境問題 (梅崎)</p> <p>5月30日 試験</p>		
授業の方法	原則として講義によるが、事前に文献資料を提供し、それについて討議を行なうなど演習形式の講義も一部取り入れる予定。		
成績評価方法	試験成績、授業中に行なう小テスト・小レポートの成績を合わせて評価する。毎回開始時に出席を取り、2/3以上の出席をもって受験資格とする。追試は1回のみ。		
教科書			
参考書	大塚柳太郎他『人類生態学』東京大学出版会 渡辺知保他『人間の生態学』朝倉書店		
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館S101		
メールアドレス	omezaki@humeco.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号			
ホームページ	<a href="http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/jp/outline.html">http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/jp/outline.html</a>		
その他			

02217	生物統計学実習		共通必修
単位数	1	責任教員	松山 裕
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	水 (Wed)3 [13:00-14:45], 水 (Wed)4 [14:55-16:40]		
科目担当	松山 裕, 大庭 幸治, 篠崎 智大, 柏原 康佑, 竹内 由則		
目標・概要	模擬臨床研究 (ランダム化比較試験) を通じ、臨床研究の計画から実施、データ解析、報告までの一連の流れを課題ごとのグループに分かれて実習する。		
授業計画	04月05日 (水) オリエンテーション・班別実習 04月19日 (水) 班別実習 04月26日 (水) 班別実習 05月10日 (水) 全体実験 05月17日 (水) 班別実習 05月24日 (水) 班別実習 05月31日 (水) 発表会		
授業の方法	グループ実習		
成績評価方法	出席 (70%) とレポート (30%)		
教科書			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京大学教養学部統計学教室編. 統計学入門. 東京大学出版会, 1991.</li> <li>・ 日本統計学会編. 統計学基礎. 東京図書, 2012.</li> <li>・ 日本統計学会編. 統計学. 東京図書, 2012.</li> <li>・ ロスマン (著). 矢野英二, 橋本英樹 (監訳). ロスマンの疫学—科学的思考への誘い (第2版). 篠原出版新社, 2013.</li> </ul>		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生物統計学 (2年次必修) を履修していること</li> <li>・ 初回に班分けを行うので遅刻しない</li> </ul>		
開講場所等	医学部3号館N101、S101		
メールアドレス	shinozaki@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	医学部3号館別棟5階 (内: 23520)		
ホームページ	<a href="http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		
その他			

02229	生命科学・ゲノム学Ⅱ		環境生命科学専修必修・ 公共健康科学専修必修
単位数	1	責任教員	渡邊 洋一
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	水 (Wed)2 [10:25-12:10]		
科目担当	渡邊 洋一		
目標・概要	医学・生物学を学ぶ中で必要となる分子生物学領域の基礎知識からその応用例の一端について理解する。核酸、ヌクレオチドの構造と代謝、遺伝子発現とその調節、遺伝子工学など。		
授業計画	<p>講義時間 10:25 ~ 12:10</p> <p>場所 医学部3号館N101</p> <p>核酸・ヌクレオチドの構造、ヌクレオチドの代謝、複製、DNA 修復、転写、タンパク質合成（翻訳）、遺伝子発現の調節、遺伝子工学</p>		
授業の方法	教科書、プリントとスライドを用いた講義		
成績評価方法	出席とレポート		
教科書	『基礎生命科学』で用いた「理系総合のための生命科学：分子・細胞・個体から知る“生命”のしくみ」（羊土社 東京大学生命科学教科書編集委員）を使用します		
参考書	<p>「エリオット 生化学・分子生物学」第3版東京化学同人会編 清水孝雄・工藤一郎訳</p> <p>「演習で学ぶ生化学」三共出版 木南英紀 編</p>		
履修上の注意	出席はレポート提出の前提となるので、注意すること。		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	ywatana@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3526		
ホームページ			
その他			

02223	病態疾患論		共通必修
単位数	2	責任教員	山本 則子
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	月 (Mon)1 [08:30-10:15], 月 (Mon)2 [10:25-12:10], 金 (Fri)1 [08:30-10:15], 金 (Fri)2 [10:25-12:10]		
科目担当	山本 則子, 五十嵐 歩, 野口 麻衣子, 御子柴 直子		
目標・概要	健康科学・看護学を専攻する学生が、健康問題に関連する諸領域を学ぶにあたって、諸疾患を理解するために必要な基礎的知識を習得する。		
授業計画	<p>4月7日 (金) 序論、細胞、変性、代謝障害 深山 正久 (人体病理学) 循環障害牛久 綾 (人体病理学)</p> <p>4月10日 (月) 炎症、免疫 佐々木 毅 (人体病理学) 腫瘍の臨床病理牛久 哲男 (人体病理学)</p> <p>4月14日 (金) 病理解剖について 池村 雅子 (人体病理学) 疾病の病理像 (実習) ※新谷 裕加子 / 阿部 浩幸 (人体病理学)</p> <p>4月17日 (月) 分子病理 宮園 浩平 (分子病理学) 腫瘍の分子メカニズム鯉沼 代造 (分子病理学)</p> <p>4月21日 (金) 病因 (環境・遺伝) 深山 正久 (人体病理学) 人体病理学通覧 深山 正久 (人体病理学)</p> <p>4月24日 (月) 臨床検査 総論 (主として検体分野) ①矢富 裕 (検査部) 臨床検査 検体検査 ② 三上 優 (検査部) 臨床検査 検体検査③ 湯本 真人 (検査部) 臨床検査 生体検査④ 大門 雅夫 (検査部)</p> <p>4月28日 (金) 臨床検査 総論⑤ 池田 均 (検査部) 臨床検査 生体検査 (遺伝子検査含む) ⑥ 蔵野 信 (検査部) 試験⑦</p> <p>※実施場所：N104 予定</p> <p>① 8:30～9:20 ② 9:25～10:15 ③ 10:25～11:15 ④ 11:20～12:10 ⑤ 8:30～9:20 ⑥ 9:25～10:15 ⑦ 10:40～12:10</p>		
授業の方法	医学部3号館N101にて講義を行う。		
成績評価方法	試験、出席による。		
教科書	深山正久編著：新体系看護学全書 病理学 (第2版) メヂカルフレンド社 2012		
参考書			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2/3以上の出席により試験受験資格を得られ、正当な理由なき遅刻・退出が30分を超えた場合には欠席扱いとする。</li> <li>・看護学コースの学生は必ず履修すること。</li> <li>・試験及びレポートにおける不正行為に対しては、単位認定できない可能性がある。</li> </ul>		
開講場所等	医学部3号館N101 ※のみN104 予定		
メールアドレス			
研究室電話番号	03-5841-3508		
ホームページ			
その他			

02235	母子保健学		環境生命科学専修必修・ 看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	水口 雅
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	金 (Fri)3 [13:00-14:45], 金 (Fri)4 [14:55-16:40]		
科目担当	水口 雅, 高梨 さやか		
目標・概要	健康な子供の養育には、小児の保健と母性の保健を包含する包括的な 対策が必要である。この観点から、婦人科疾患、不妊症、周産期医学、地域母子保健サービス、母子保健の国際化、集団保育における健康管理・慢性疾患児の健康管理、障害児ケア、母子保健統計、感染症対策及び予防接種、思春期の保健について講義し、世界でトップレベルにある日本の母子保健について理解する。		
授業計画	<p>日程 講義題目</p> <p>4月 7日 (金) 母子保健の歴史と国際化</p> <p>4月14日 (金) 栄養と母子保健</p> <p>4月21日 (金) 母子保健の現状と統計 / 周産期と母子保健</p> <p>4月28日 (金) 小児の事故と虐待</p> <p>5月12日 (金) 障害児の福祉と保健</p> <p>5月19日 (金) 環境と母子保健</p> <p>5月26日 (金) 試験</p>		
授業の方法	講義		
成績評価方法	履修条件：60%以上の出席により試験受験可能 採点基準：原則的に60点～69点 可、70点～79点 良、80点～100点 優		
教科書			
参考書	高野陽 / 柳川洋 「母子保健マニュアル」改訂5版 南山堂 牛島廣治「Maternal and Child Health in Japan 2004」母子衛生研究会		
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス			
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

<b>02224</b>	<b>免疫と生態防御</b>		<b>共通必修</b>
単位数	1	責任教員	水口 雅
開講ターム	3年S1	開講期間	S1 (2017/04/01-2017/06/04)
曜日・時限	火 (Tue)3 [13:00-14:45]		
科目担当	水口 雅, 高梨 さやか		
目標・概要	近年の免疫学の進歩はめざましく、基礎医学的側面と 応用的側面の距離が接近してきたことが特徴のひとつである。本シリーズの講義では、免疫の歴史的背景を踏まえてその概念と基礎知識への理解を深め、更に最新の免疫学研究のトピックにも触れる。また、社会現象について免疫学の立場から解説する。講義内容は主に免疫学の歴史と概念、T細胞、B細胞、抗原認識、免疫グロブリン、MHC 拘束、接着分子、免疫系とシグナル伝達、免疫系の遺伝子発現、母子免疫、サイトカイン、感染免疫、ウイルス学実験法の基礎、免疫学実験法の基礎である。		
授業計画	<p>日程 講義題目</p> <p>4月11日 (火) 免疫学序論、免疫グロブリンと免疫担当細胞</p> <p>4月18日 (火) 13:00-16:40 臨床免疫</p> <p>4月25日 (火) 救急実習につき休講</p> <p>5月 9日 (火) 腸管免疫</p> <p>5月16日 (火) 免疫手法を用いた診断法</p> <p>5月23日 (火) 免疫系の情報伝達遺伝子発現 / 免疫応答の調節</p> <p>5月30日 (火) 試験</p>		
授業の方法	講義		
成績評価方法	履修条件：60%以上の出席により試験受験可能 採点基準：原則的に60点～69点 可、70点～79点 良、80点～100点 優		
教科書			
参考書	B.Albert 他編 「Molecular Biology of the Cell」 Garland C.Janeway & P.Travers 「Immunobiology」 Garland WE Paul 編 「Fundamental Immunology」 Raven Press Roitt, I 「Essential Immunology」 Blackwell Sci.Pbl. Fields 「Virology」 Lippincott Reven		
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス			
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

<b>02249</b>	<b>看護支援技術論</b>		<b>看護科学専修必修</b>
単位数	2	責任教員	武村 雪絵
開講ターム	3年S2	開講期間	S2 (2017/06/05-2017/09/20)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	武村 雪絵, 竹原 君江, 國江 慶子, 市川 奈央子		
目標・概要	看護支援技術論では、人を理解し援助するための知識・技術を学ぶことを目的としている。具体的には、フィジカルアセスメントの技術と療養生活における基本的な援助技術を学ぶ。		
授業計画	<p>7月3日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護コース実習オリエンテーション</li> <li>・フィジカルアセスメントの基礎</li> <li>・フィジカルアセスメント(呼吸系、循環系、消化系、泌尿器系)</li> </ul> <p>7月4日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィジカルアセスメント(運動系・神経系)</li> <li>・移動・移乗</li> </ul> <p>7月5日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身体の清潔(清拭、更衣、洗髪、足浴)</li> </ul> <p>7月6日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・排泄ケア(導尿、床上排泄、陰部洗浄、おむつ交換)</li> </ul> <p>7月7日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎看護学実習オリエンテーション</li> <li>・技術テスト</li> </ul>		
授業の方法	講義および演習		
成績評価方法	出席、演習への取り組み、技術テストにより評価を行う。		
教科書			
参考書			
履修上の注意	<p>履修条件：看護学概論、基礎看護学Ⅰの単位取得者。</p> <p>健康支援実習の単位を取得していることが望ましい。</p> <p>演習中心に行うため、正当な理由なき遅刻、欠席は認められない。</p>		
開講場所等	医学部5号館201(汎用実習室)		
メールアドレス	NA_ACN_utokyo-office@umin.ac.jp		
研究室電話番号	基礎看護学教室 03-5841-3524		
ホームページ			
その他			

<b>02251</b>	<b>基礎看護学実習</b>		<b>看護科学専修必修</b>
単位数	2	責任教員	武村 雪絵
開講ターム	3年S2	開講期間	S 2 (2017/06/05-2017/09/20)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	武村 雪絵, 竹原 君江, 國江 慶子, 市川 奈央子		
目標・概要	<p>病棟実習と見学実習を行う。</p> <p>病棟実習では、入院患者を受け持ち、看護過程を展開する。また、病院において療養生活を送る患者を理解し、基本的看護技術を中心としたケアを実践する。</p> <p>見学実習では、看護外来や多職種チーム活動における看護師の活動を見学し、病棟の看護師とは異なる看護師の役割や看護の実際を学ぶ。</p>		
授業計画	<p>7月18日(火)～7月28日(金)</p> <p>オリエンテーション・集中演習・病棟実習・見学実習</p>		
授業の方法	臨床実習		
成績評価方法	出席状況、実習への取り組み、レポートにより評価する。		
教科書			
参考書			
履修上の注意	履修条件：看護支援技術論の単位取得予定者で看護科学専修の学生。		
開講場所等	医学部5号館201(汎用実習室)、東京大学医学部附属病院		
メールアドレス	NA_ACN_utokyo-office@umin.ac.jp		
研究室電話番号	基礎看護学教室 03-5841-3524		
ホームページ			
その他			



02256	心の健康科学		看護科学専修必修
単位数	1	責任教員	川上 憲人
開講ターム	3年S2	開講期間	S2 (2017/06/05-2017/09/20)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	川上 憲人		
目標・概要	この授業では、心の健康について基礎と対策を科学的視点から学ぶことを目的とする。心の健康の心理・社会・生物学的メカニズムについて学ぶ。心の健康問題として、さまざまな精神疾患があること、その特徴を学ぶ。さらに心の健康問題への科学的根拠のある対策として、精神疾患の第一次予防（未然防止）、第二次予防（早期発見）、第三次予防（リハビリテーションや社会復帰）について最新の研究事例を学ぶ。また災害時の精神保健対策のあり方や、精神保健の国際的広がりについて学ぶ。最終回では、学生が心の健康について調べ、考えたことを発表し、これに教員がコメントすることで、心の健康科学への理解を深める。		
授業計画	1 6月19日(月) 1限 オリエンテーション、心の健康の生物・心理・社会学 2 " 2限 心の健康問題①統合失調症 3 " 3限 心の健康問題②うつ・不安 4 " 4限 心の健康問題③依存、④発達障がい 5 6月20日(火) 1限 精神障がいからのリカバリーの科学 6 " 2限 精神障がいの治療の科学 7 " 3限 心の健康問題の予防の科学 8 6月22日(木) 1限 学生による発表 9 " 2限 (精神保健学実習説明会)		
授業の方法	各回1つのテーマについて担当教員（または外部講師）による講義と討議、質疑を行う。最終回には学生がグループで選択テーマに関して発表し、これに教員が補足を行い、全員で討論する。		
成績評価方法	出席（30%）、発表（20%）、レポート（50%）による。		
教科書	指定しない。		
参考書	第1回の授業で紹介する。		
履修上の注意	6月22日の2限には精神保健学実習の説明会を行う。 わが国の地域や職場での精神保健の制度については、公共健康科学統合講義Ⅱあるいは精神保健学実習初日の授業で補足する予定である		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	kawakami@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3521		
ホームページ	<a href="http://plaza.umin.ac.jp/heart/">http://plaza.umin.ac.jp/heart/</a>		
その他			

<b>02220</b>	<b>生命科学実習 I</b>		<b>共通必修</b>
単位数	1	責任教員	渡邊 洋一
開講ターム	3年S2	開講期間	S2 (2017/06/05-2017/09/20)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	渡邊 洋一, 水口 雅		
目標・概要	医学(特に健康科学、保健学)・生命科学各領域の実験的・分析的アプローチの基礎を実習で理解し習得する。臨床検査法、生理学、組織学、放射線学などの実験実習。		
授業計画	<p>日によって、開始時間、集合場所が異なる場合があります。掲示に注意すること。</p> <p>&lt;教室&gt; 医学部3号館N101および実習室(N103, N104) 他</p> <p>&lt;期間&gt; 6月5日-6月9日</p> <p>&lt;時間&gt;</p> <p>8:30 ~ 12:10</p> <p>13:00 ~ 16:40</p>		
授業の方法	講義と実習		
成績評価方法	出席とレポート		
教科書	実習書を実習期間開始前に配布します。掲示に従い、各自、実習書を指定の場所まで受け取りに行くこと。		
参考書	各担当教員より紹介します。		
履修上の注意	<p>1. 全ての分野に合格しなければ全体としての合格とはならないので注意する事。各分野のレポートの提出締切に注意。</p> <p>2. 出席が必須であり、また実習によっては16:40に終わらない場合もあるので、この期間中にはアルバイトなどは入れないこと。</p>		
開講場所等			
メールアドレス	ywatana@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3526		
ホームページ			
その他			

02230	生命科学実習Ⅱ		環境生命科学専修
単位数	1	責任教員	渡邊 洋一
開講ターム	3年S2	開講期間	S2 (2017/06/05-2017/09/20)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	渡邊 洋一, 水口 雅		
目標・概要	医学(特に健康科学、保健学)・生命科学各領域の実験的・分析的アプローチの基礎を実習で理解し習得する。遺伝学、環境科学、微生物学、神経科学、生化学などの実験実習。		
授業計画	<p>日によって、開始時間、集合場所が異なる場合があります。掲示に注意すること。</p> <p>&lt;教室&gt; 医学部3号館N101および実習室(N103, N104) 他</p> <p>&lt;期間&gt; 6月12日-6月16日</p> <p>&lt;時間&gt;</p> <p>8:30 ~ 12:10</p> <p>13:00 ~ 16:40</p>		
授業の方法	講義と実習		
成績評価方法	出席とレポート		
教科書	資料を実習期間開始前または実習開始後に配布します。事前配布の場合は、掲示に従い、各自で指定の場所まで受け取りに行くこと。		
参考書	各担当教員より紹介します。		
履修上の注意	<p>1. 全ての分野に合格しなければ全体としての合格とはならないので注意する事。各分野のレポートの提出締切に注意。</p> <p>2. 出席が必須であり、また実習によっては16:40に終わらない場合もあるので、この期間中にはアルバイトなどは入れないこと。</p>		
開講場所等			
メールアドレス	ywatana@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3526		
ホームページ			
その他			

02243	<b>精神保健学実習</b>		公共健康科学専修必修・ 看護科学専修必修
単位数	1	責任教員	川上 憲人
開講ターム	3年S2	開講期間	S2 (2017/06/05-2017/09/20)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	川上 憲人		
目標・概要	地域の精神保健福祉活動の見学、および希望に応じて産業精神保健、学校精神保健の現場の見学を行い、わが国の精神保健福祉の現状と課題を理解し、その解決策を自ら考えることのできる能力を身につけることを目的とする。		
授業計画	<p>6月26日(月) 午前 地域精神保健福祉の仕組みと障害者総合支援法 産業精神保健について 午後 学生による課題発表会 地域精神保健福祉関係者による講義</p> <p>6月27日(火) 午前 地域精神福祉施設実習 午後 同上</p> <p>6月28日(水) 午前 地域・産業・学校選択実習 午後 同上</p> <p>6月29日(木) 午前 精神科医療機関実習 午後 同上</p> <p>6月30日(金) 午前 発表準備 午後 成果発表会</p>		
授業の方法	<p>1. 精神保健学実習の詳細について4月5日(水)5限および6月22日(木)2限にN101教室で説明するので、必ず出席すること。</p> <p>2. 1グループ2～4名で行う。グループ分けは、学生の希望をききながら決定する。</p> <p>3. 課題発表会では、各実習コースに関する施設やサービス、関連する制度について学生が調べ、グループごとに発表する。</p> <p>4. 地域精神保健福祉施設実習では、原則2名が1組となり、精神障害の経験者にインタビューして、これまでの経過や現状、今後の希望などについて聞き取り、具体的事例を通じて精神保健の現状を理解することを目的とする。またその施設の活動を見学する。</p> <p>5. 地域・産業・学校選択実習では、希望により地域精神福祉施設、産業精神保健関連サービス、学校に分かれて見学あるいは体験型実習を行う。</p> <p>6. 成果発表会では、地域精神保健福祉施設実習でインタビューした内容を含めて、精神保健の現状と課題、よりよい精神保健に向けての提言などをグループごとに発表する。</p>		
成績評価方法	出席状況と実習態度、レポートを総合的に評価する。		
教科書			
参考書			
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	kawakami@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3364		
ホームページ	<a href="http://plaza.umin.ac.jp/heart/">http://plaza.umin.ac.jp/heart/</a>		
その他			

02236	医学データの統計解析		公共健康科学専修
単位数	1	責任教員	松山 裕
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	金 (Fri)1 [08:30-10:15], 金 (Fri)2 [10:25-12:10]		
科目担当	松山 裕、大庭 幸治、篠崎 智大		
目標・概要	臨床研究・疫学研究で頻用される統計解析法について講義するとともに、SAS を用いて実習を行う。基本的に、午前は講義で午後の実習を行う。		
授業計画	<p>09月29日(金) SASの基本動作</p> <p>10月06日(金) 記述統計／推測統計の基礎</p> <p>10月13日(金) カテゴリカルデータ解析／層別解析・ロジスティック回帰</p> <p>10月20日(金) 相関と回帰／回帰分析の応用</p> <p>10月27日(金) 分散分析入門(多群の比較)／実験計画と分散分析</p> <p>11月10日(金) 生存時間解析入門</p> <p>11月14日(火) 経時データあるいは相関のあるデータの解析</p>		
授業の方法	講義		
成績評価方法	出席(50%)と毎回のレポート(50%)		
教科書			
参考書	<p>市川伸一・大橋靖雄「SASによるデータ解析入門」東京大学出版会</p> <p>高橋行雄・大橋靖雄「SASによる実験データの解析」東京大学出版会</p> <p>大橋靖雄・浜田知久馬「生存時間解析」東京大学出版会</p> <p>Altman DG. 「医学研究における実用統計学」サイエンティスト社</p> <p>Agresti A. 「カテゴリカルデータ解析入門」サイエンティスト社</p> <p>Verbeke G and Molenberghs G. 「医学統計のための線型混合モデル」サイエンティスト社</p>		
履修上の注意	<p>・疫学・生物統計学あるいは同様のレベルの統計学の履修を終えていること、及びSASの基本的な使い方を知っていること。大学院生の聴講も歓迎する。</p> <p>・同日午後開講の「医学データ解析実習」で講義内容に関連したSAS実習を行う。</p>		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	oba@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	医学部3号館別棟5階(内:23519)		
ホームページ	<a href="http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		
その他			

02237	医学データの統計解析実習		公共健康科学専修
単位数	1	責任教員	松山 裕
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	金 (Fri)3 [13:00-14:45], 金 (Fri)4 [14:55-16:40]		
科目担当	松山 裕、大庭 幸治、篠崎 智大		
目標・概要	医学データの統計解析参照		
授業計画	<p>09月29日(金) SASの基本動作</p> <p>10月06日(金) 記述統計・簡単な推測統計に関する実習</p> <p>10月13日(金) カテゴリカルデータ・層別解析・ロジスティック回帰の実習</p> <p>10月20日(金) 相関と回帰に関する実習</p> <p>10月27日(金) 分散分析に関する実習</p> <p>11月10日(金) 生存時間解析に関する実習</p> <p>11月14日(火) 経時データあるいは相関のあるデータに関する実習</p>		
授業の方法	統計解析ソフトウェア SAS を用いた、各回のテーマに合わせた統計解析の実習		
成績評価方法	出席 (50%) と毎回のレポート (50%)		
教科書			
参考書			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疫学・生物統計学あるいは同様のレベルの統計学の履修を終えていること、及び SAS の基本的な使い方を知っていること。大学院生の聴講も歓迎する。</li> <li>・PC貸し出し希望者は事前に担当教員まで連絡すること。</li> <li>・同日午前開講の「医学データ解析」を受講すること。</li> </ul>		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	oba@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	医学部3号館別棟5階(内:23520)		
ホームページ	<a href="http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		
その他			

<b>02246</b>	<b>家族と健康</b>		<b>看護科学専修必修</b>
単位数	2	責任教員	上別府 圭子
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	月 (Mon)1 [08:30-10:15], 月 (Mon)2 [10:25-12:10]		
科目担当	上別府 圭子, キタ 幸子, 佐藤 伊織, 副島 堯史		
目標・概要	健康総合科学の対象としての、家族と健康の考え方の基礎を学ぶ。家族は社会を構成する最小単位であり、また、家族は一単位として健康総合科学実践の対象となる。国内外の、家族心理学・家族看護学・家族療法などにおける知見および理論を学び、さらに事例を通して、その実践の試みについての見識を深める。加えて、家族を健康総合科学研究の対象とする際に必要な基礎的知識と考え方を理解する。		
授業計画	<p>9月25日(月) 健康問題と家族  10月2日(月) 家族、いのちと向き合う遺伝看護  10月16日(月) 思春期の健康課題とケア  10月23日(月) 家族の理解と看護  10月30日(月) 家族を形成する  11月6日(月) 疾患を抱える患者とその家族  11月13日(月) 少子超高齢社会と家族</p> <p>※ 場所と日程は変更する可能性がある</p>		
授業の方法	講義と演習		
成績評価方法	出席点と受講態度、及びレポートから評価を行なう 正当な理由なき遅刻及び退出が30分を超えた場合には欠席扱いとする 全7コマのうち5コマ以上出席した者のみ、単位認定対象とする		
教科書			
参考書	<p>Marilyn M. Friedman, Vicky R. Bowden, Elaine Jones : Family Nursing: Research, Theory, &amp; Practice (5th Ed.), Prentice Hall, 2002. (ISBN: 013060824)</p> <p>Kaakinen J, Gedaly-Duff V, Hanson S, Coehlo D : Family Health Care Nursing: Theory, Practice, and Research (4th Ed.), FA Davis Co., 2009. (ISBN: 0803621663)</p> <p>Polit DF, Beck CT : Nursing Research: Generating and Assessing Evidence for Nursing Practice (9th ed.), Lippincott Williams &amp; Wilkins, 2011. (ISBN: 9781605477084)</p> <p>杉下知子編: 家族看護学入門, メジカルフレンド社, 2000.</p> <p>鈴木和子, 渡辺裕子: 家族看護学 理論と実践 第4版, 日本看護協会出版会, 2012.</p> <p>森山美知子, 鞠子英雄: ファミリーナーシングプラクティス—家族看護の理論と実践, 医学書院, 2001.</p> <p>野嶋佐由美監修: 家族エンパワーメントをもたらす看護実践, へるす出版, 2005.</p> <p>山崎あけみ, 原礼子編: 家族看護学 19の臨床場面と8つの実践例から考える 改定第2版, 南江堂, 2015.</p> <p>渡辺俊之, 小森康永: バイオサイコソーシャルアプローチ: 生物・心理・社会的医療とは何か?, 金剛出版, 2014.</p>		
履修上の注意	小児看護学実習Iの履修は、本講義を履修していることが条件である		

開講場所等	医学部 3 号館 N101
メール アドレス	
研究室 電話番号	23694
ホーム ページ	<a href="http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/</a>
その他	



02245	解剖示説		看護科学専修必修
単位数	1	責任教員	真田 弘美
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	月 (Mon)5 [16:50-18:35]		
科目担当	真田 弘美, 仲上 豪二郎		
目標・概要	「生」「健康」の対極にある「死」「疾患」に身近で体験することにより、生命・生活についての深い理解に役立てる。マクロ解剖を実際に行うことで、人体の構築について学習する。また、さらに、医学標本室における見学を通して俯瞰的・総合的に学ぶ。		
授業計画			
授業の方法	<p>[日程] [講義題目]</p> <p>詳細については未定であり、別途掲示する。</p> <p>ガイダンスでの司法解剖に関する講義、司法解剖見学（随時受け入れ）、医学科でのプリクラへの参加を予定している。</p>		
成績評価方法	各回ごとにレポートの提出すること。また、単位取得希望者の成績は出席状況と実習のレポートをもって判断する。		
教科書			
参考書			
履修上の注意	<p>《履修条件》</p> <p>(1) 受講希望者（3年生・4年生）は事前に受講申請を出す。</p> <p>(2) 希望者全員に、ガイダンスを実施する。</p> <p>(3) 人体解剖学講義及び演習を受講できる人数は、最大6人とする。受講者の資格認定は成績を考慮して教育委員長が決定する。</p> <p>(4) 選択科目の単位の認定は、上記（3）の該当者とする。</p> <p>ガイダンスで、詳細を説明するので、受講希望者は必ず出席すること。</p>		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス			
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

02281	健康総合科学英語Ⅱ		選択
単位数	1	責任教員	ミリンダ ハル
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	水(Wed)5 [16:50-18:35]		
科目担当	ミリンダ ハル		
目標・概要	<p>This course is the continuation of 健康総合科学英語Ⅰ; it is conducted entirely in English. Its aim is to improve students' skills in reading, listening, speaking, and writing English. Attendance is mandatory, and written excuses must be submitted for all absences. Students must prepare for class. Evaluation of students' performance will be based on their preparation, attendance, classroom participation, and improvement.</p>		
授業計画	<p>The followings are the schedule of the classes.</p> <p>9/27, 10/4, 10/11, 10/18, 10/25, 11/1, 11/8</p> <p>Wednesday: 16:50-18:35</p> <p>The schedule may be subject to change owing to circumstances, so please make sure to attend the first class (9/27).</p>		
授業の方法	<p>Classes will revolve around discussions of the English language material. While the instructor will occasionally give lectures, most of the classes will involve student participation.</p>		
成績評価方法	<p>Students will be evaluated based on their individual progress, participation and attendance. Thus evaluations will be based on a comparison of each individual student's growth during the semester. Students will not be compared to each other or evaluated against an arbitrary objective scale.</p>		
教科書			
参考書			
履修上の注意	<p>Successful completion of 健康総合科学Ⅰ, or demonstrated need to enroll in this course and ability to participate fully in classroom activities in English.</p>		
開講場所等	医学部教育研究棟 N202		
メールアドレス			
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

02288	人口学		選択
単位数	1	責任教員	梅崎 昌裕
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	火 (Tue)2 [10:25-12:10]		
科目担当	梅崎 昌裕, 小西 祥子, 末吉 秀二		
目標・概要	<p>人口学は、集団レベルの健康指標について、その計算方法と決定メカニズムを研究する分野である。本講義は、基本的な人口学の概念と方法を理解し、健康総合科学における応用事例を学ぶことを目標とする。</p> <p>講師：  梅崎昌裕（人類生態学）  小西祥子（人類生態学）  末吉秀二（吉備国際大学社会学部）</p>		
授業計画	1. 形式人口学（1）：人口構造・出生 2. 形式人口学（2）：死亡・移動 3. 日本の人口問題（1）：少子化 4. 日本の人口問題（2）：高齢化 5. 日本の人口問題（3）：人口減少 6. 途上国の人口問題（1） 7. 途上国の人口問題（2）		
授業の方法	形式人口学の授業では、人口動態および人口静態データから人口指標を計算する演習を実施する。日本と途上国の人口問題の授業では、いくつかのトピックスについての情報収集と問題の整理をおこない、最善と考えられる対処策をつくりあげることが目標とする。		
成績評価方法	授業への参加態度、課題研究の発表、質疑応答、レポートの評価		
教科書	岡崎陽一『人口分析ハンドブック』古今書院 河野稠果『人口学への招待』中公新書		
参考書			
履修上の注意	単位取得の条件は以下の通り：（1）遅刻・無断欠席をしないこと、（2）課題研究をおこない、授業で発表をおこなうこと、（3）課題研究に基づくレポートで合格点をとること。		
開講場所等	医学部3号館S102		
メールアドレス	omezaki@humeco.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

02228	人類遺伝学Ⅱ		環境生命科学専修
単位数	2	責任教員	徳永 勝士
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	水 (Wed)1 [08:30-10:15], 水 (Wed)2 [10:25-12:10]		
科目担当	徳永 勝士, 馬淵 昭彦		
目標・概要	<p>人類遺伝学Ⅰの内容を踏まえ、人類遺伝学の発展的知識の獲得を目的として、最先端の研究に至る手法論の解説を行うとともに、当該領域の最先端の研究を紹介する。今年度は以下のテーマで授業を行う予定である。</p> <p>(1) ヒトゲノム多様性  (2) 家系解析・分離比解析  (3) ハプロタイプとハプロタイプ解析  (4) 人類進化、分子進化  (5) common disease の遺伝学  (6) 薬理遺伝  (7) ゲノム医療、遺伝子治療  (8) ポストゲノム研究</p> <p>具体的には下記の授業計画を参照して下さい。</p>		
授業計画	<p>3 学年 (A1)、後期 I-1</p> <p>9 月 27 日 (水) 1 限 1. 人類進化とヒトゲノム多様性 (徳永)  9 月 27 日 (水) 2 限 2. 家系解析・分離比解析 (馬淵)  10 月 4 日 (水) 1 限 3. 連鎖平衡と連鎖不平衡、ハプロタイプ (馬淵)  10 月 4 日 (水) 2 限 4. 自己免疫疾患 (人見)  10 月 11 日 (水) 1 限 5. 遺伝統計学 (馬淵)  10 月 11 日 (水) 2 限 6. 遺伝子タイピングの技術 (徳永)  10 月 18 日 (水) 1 限 7. 骨関節疾患の遺伝素因 (馬淵)  10 月 18 日 (水) 2 限 8. 関連解析の実際 (澤井)  10 月 25 日 (水) 1 限 9. 核酸シーケンシング法の技術と進歩 (馬淵)  10 月 25 日 (水) 2 限 10. 次世代型シーケンサー (NGS) (人見)  11 月 1 日 (水) 1 限 11. 遺伝学解析ソフトと遺伝学データベース (馬淵)  11 月 1 日 (水) 2 限 12. ポストゲノム研究 (徳永)  11 月 8 日 (水) 1 限 13. 試験  11 月 8 日 (水) 2 限 14. 教室紹介・見学</p>		
授業の方法	講義形式 (一部実習形式を含む)		
成績評価方法	授業終了後のレポートによる評価を予定		
教科書	<p>本講義では教科書は指定しません。プリント等を配布します。</p> <p>参考になる教科書として、  Strachan, Read / Human Molecular Genetics 4th Garland Science, 2010 (ISBN 978-0-8153-4149-9) があります。</p> <p>また、ゲノム医科学、疾患のゲノム研究に関する書籍や和文雑誌の特集号は、近年多数出版されているので、興味ある分野のものを適宜読んで下さい。</p>		
参考書	同上		
履修上の注意	人類遺伝学Ⅰを履修のこと (未履修の場合要相談)		
開講場所等	医学部 3 号館 N101		
メールアドレス	mabuchi@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	医学部 1 号館 S212 号室 03-5841-3693 (内線 23693) オフィスアワーは木曜 16:00-17:30		
ホームページ	www.humgenet.m.u-tokyo.ac.jp		
その他			

02265	成人看護学		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	山本 則子
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	水 (Wed)3 [13:00-14:45], 水 (Wed)4 [14:55-16:40]		
科目担当	山本 則子, 五十嵐 歩, 野口 麻衣子, 御子柴 直子		
目標・概要	看護職およびその他の健康関連の実務、教育、研究に携わることをめざす学生が、成人の看護を実践するための基礎的知識を得ること、特に、成人の各健康段階・治療段階別、生命維持に関わる主要身体系統別に基礎的な看護学の知識を得ることを目標とする。看護学の原理、原則に基づいた成人看護の展開について、各主要身体系統別の講義を通して学ぶ。		
授業計画	<p>9月27日(水) ガイダンス・成人看護学概論(看護過程) / 周手術期の看護(術前・術中・術後)</p> <p>10月4日(水) 循環器系に問題を抱える患者への看護 / 高血圧・腎不全患者への看護</p> <p>10月11日(水) 脳卒中患者への看護 / がん患者・大腸がん患者への看護</p> <p>10月18日(水) 大腿骨頸部骨折患者への看護 / 脊髄損傷患者への看護</p> <p>10月25日(水) クリティカルケアを必要とする患者への看護 / 糖尿病患者の看護</p> <p>11月1日(水) 慢性閉塞性肺疾患患者への看護 / 難病患者への看護</p> <p>11月8日(水) 膠原病患者への看護 (SLE) / 試験</p>		
授業の方法	講義		
成績評価方法	試験、出席による		
教科書			
参考書	<p>看護学テキストシリーズ NiCE</p> <p>「成人看護学：慢性期看護～病気とともに生活する人を支える」「成人看護学：急性期看護 I ～概論・周手術期看護」南江堂</p>		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三分の二以上の出席数を満たした場合に試験受験資格を有する。</li> <li>・ 正当な理由なき遅刻・退席が30分を超えた場合には欠席扱いとする。</li> <li>・ 履修条件：看護支援技術論及び基礎看護学 I</li> <li>・ 授業日程や内容は変更となる可能性あり</li> </ul>		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス			
研究室電話番号	03-5841-3508		
ホームページ	<a href="http://www.adng.m.u-tokyo.ac.jp/subject_001.php">http://www.adng.m.u-tokyo.ac.jp/subject_001.php</a>		
その他			

02289	生命・医療倫理Ⅱ		選択
単位数	2	責任教員	赤林 朗
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	月 (Mon)3 [13:00-14:45], 月 (Mon)4 [14:55-16:40]		
科目担当	赤林 朗, 瀧本 禎之, 中澤 栄輔		
目標・概要	この授業では、主に医学研究の実施に際して生じる倫理的問題を検討する。授業では、研究倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションや、資料を用いた演習も行うため、受講者の積極的な参加が望まれる。		
授業計画	<p>時間：13:00～16:40</p> <p>授業スケジュール</p> <p>日程講義題目</p> <p>9月25日(月) 研究倫理の基礎1</p> <p>10月2日(月) 研究倫理の基礎2</p> <p>10月16日(月) 意思決定能力判断とIC</p> <p>10月23日(月) リスクとベネフィット</p> <p>10月30日(月) 公平な被験者の選抜</p> <p>11月6日(月) グローバル・リサーチエシックス</p> <p>11月13日(月) まとめと応用</p>		
授業の方法	講義と演習、スモール・グループ・ディスカッション		
成績評価方法	授業への参加度合い(50%)、および最終レポート(50%)により評価する。		
教科書	赤林朗(編著)『入門・医療倫理Ⅰ〔改訂版〕』勁草書房		
参考書	<p>Jonsen, A.R. et al. 著(赤林、蔵田、児玉監訳)『第5版臨床倫理学－臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ』新興医学出版</p> <p>トニー・ホープ著(児玉聡・赤林朗訳)『一冊でわかる医療倫理』岩波書店</p> <p>赤林朗編著『ケースブック 医療倫理』医学書院</p> <p>A・V・キャンベル著〔山本ら訳〕『生命倫理学とは何か―入門から最先端まで』勁草書房</p>		
履修上の注意	生命・医療倫理Ⅰを前提とした内容である。		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	nakazawa@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	23607		
ホームページ			
その他			

02269	母性看護学		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	春名 めぐみ
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	木(Thu)1 [08:30-10:15], 木(Thu)2 [10:25-12:10]		
科目担当	春名 めぐみ, 笹川 恵美, 米澤 かおり, 疋田 直子		
目標・概要	<p>人間のライフサイクルの中で生殖に関与する期間のうち、妊娠、分娩、産褥各期を中心に、その基礎と健康問題のアセスメント及び看護の計画、実施、評価法を学習する。</p> <p>母性看護学の対象は、狭義では妊娠・分娩・産褥期をいうが、広義には女性の一生期間を通して子を産み育てる機能に関する健康事象全般をいう。妊娠・分娩・産褥期には生殖機能そのものによる大きな心身の変化を生ずるが、この間を安全安楽に、そして子育ての準備を十分整えられるよう、各期に適した保健指導および異常の早期発見とケアが実施できるよう学習する。</p>		
授業計画	<p>9月28日(木) 8:30～12:10 母性看護概論・妊娠期の看護 春名</p> <p>10月3日(火) 16:50～18:35 分娩期の経過(正常・異常)・産褥期の異常 永松</p> <p>10月5日(木) 8:30～12:10 分娩期の看護 関口</p> <p>10月10日(火) 16:50～18:35 産褥期の経過と看護 教員</p> <p>10月12日(木) 8:30～12:10 施設内分娩における助産師の役割 石川</p> <p>10月19日(木) 8:30～12:10 自然出産と助産師の仕事 三宅</p> <p>10月26日(木) 8:30～12:10 妊産褥婦, 新生児の事例展開(1コマで) 笹川</p> <p>11月2日(木) 8:30～12:10 新生児(正常・ハイリスク)の看護 近藤</p> <p>11月9日(木) 8:30～12:10 試験(1コマで) 米澤</p>		
授業の方法	講義、事例検討		
成績評価方法	試験、レポート、授業への参加状況		
教科書	系統看護学講座 専門24・25 母性看護学概論・各論〔1〕〔2〕医学書院		
参考書			
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	mharuna@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3396 (内線:23396)		
ホームページ	<a href="http://midwifery.m.u-tokyo.ac.jp/">http://midwifery.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		
その他			

02244	臨床・疫学研究の実例		公共健康科学専修
単位数	1	責任教員	松山 裕
開講ターム	3年A1	開講期間	A1 (2017/09/21-2017/11/19)
曜日・時限	火 (Tue)3 [13:00-14:45]		
科目担当	松山 裕, 大庭 幸治, 篠崎 智大		
目標・概要	疫学研究および臨床研究の方法論と最新の知見について、各分野で実際に研究を遂行する学内外の研究者を招聘し、応用事例を中心に講義する。		
授業計画	<p>09月26日 疫学研究のデザイン (大庭 幸治)</p> <p>10月03日 Japan Nurses' Health Study (林 邦彦)</p> <p>10月10日 運動疫学、地域コホート研究 (内藤 義彦)</p> <p>10月17日 栄養疫学の基礎理論と実際 (佐々木 敏)</p> <p>10月24日 データベースによる薬剤疫学・薬剤監視 (小出 大介)</p> <p>10月31日 微小粒子状物質等の疫学研究 (中井 里史)</p> <p>11月07日 医療ビッグデータを活用した生活習慣病臨床疫学 (曾根 博仁)</p>		
授業の方法	講義		
成績評価方法	出席 (50%) と毎回の小レポート (50%)		
教科書			
参考書	講義内で適宜指定する		
履修上の注意	健康総合科学科公共健康科学専修の必修科目であるが、他学科、他専修、および大学院生の聴講も歓迎する。講師の都合により講義順が変更になることがあるので、研究室ウェブサイトと最新のシラバスで確認すること。		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	oba@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	23520		
ホームページ	<a href="http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp">http://www.epistat.m.u-tokyo.ac.jp</a>		
その他			



02257	在宅看護学実習		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	成瀬 昂
開講ターム	3年A1A2, 4年A1	開講期間	A1A2 (2017/09/21-2018/01/28), 4年A1
曜日・時限	金(Fri)1 [08:30-10:15], 金(Fri)2 [10:25-12:10], 金(Fri)3 [13:00-14:45], 金(Fri)4 [14:55-16:40]		
科目担当	成瀬 昂, 寺本 千恵, 藤崎 万裕		
目標・概要	地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅での看護の基礎を学ぶ。在宅で提供する看護を理解し、基礎的な技術を身に付けるとともに、地域アセスメント・他職種との協働を通して、地域の中での看護の役割を理解する。		
授業計画	実習日は、10/6、10/20、11/10、12/15、12/26(火)を予定しているが、 変更となる可能性があるため、別途の連絡や掲示に注意すること。		
授業の方法	施設内実習、学内報告会		
成績評価方法	1) 実習レポートと実習記録 2) 実習報告会発表内容 3) 実習出席日数、参加態度		
教科書			
参考書	木下由美子編：新版在宅看護論，医歯薬出版，2009 前川厚子編：在宅医療と訪問看護・介護のコラボレーション改訂第2版，2015 白澤政和，竹内孝仁，橋本泰子：ケアマネジメント講座1 ケアマネジメント概論，2000 日本看護協会編：看護白書，日本看護協会出版会，2011		
履修上の注意	受講希望者は成瀬 (takanaruse-tky@umin.ac.jp) まで連絡すること。 初回は10/6。事前にオリエンテーションを行う。受講者に連絡するので留意しておくこと。		
開講場所等	医学部5号館109		
メールアドレス			
研究室電話番号	内線 23649/23597		
ホームページ			
その他			

02258	在宅看護論		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	成瀬 昂
開講ターム	3年A1A2	開講期間	A1A2 (2017/09/21-2018/01/28)
曜日・時限	金(Fri)1 [08:30-10:15], 金(Fri)2 [10:25-12:10], 金(Fri)3 [13:00-14:45], 金(Fri)4 [14:55-16:40]		
科目担当	成瀬 昂, 寺本 千恵, 藤崎 万裕		
目標・概要	在宅療養者を取りまく社会状況や保健医療福祉のしくみの理解を踏まえて、在宅療養者の生活や健康上の問題に対する個別的・家族的アプローチの方法、ケアプランの組み方、ケアの提供方法、ケアシステムなどに関する講義を行う。		
授業計画	1. 在宅看護学総論 2. 退院支援 3. Inter Professional Education 4. ケアマネジメント演習 5. 訪問看護の対象者：個別事例（難病） 6. 訪問看護の対象者：個別事例（小児） 7. 訪問看護の対象者：個別事例（終末期）		
授業の方法	講義		
成績評価方法	出席状況とレポート等の提出物から総合的に評価する。		
教科書			
参考書	木下由美子編：新版在宅看護論，医歯薬出版，2009 前川厚子編：在宅医療と訪問看護・介護のコラボレーション改訂第2版，2015 白澤政和，竹内孝仁，橋本泰子：ケアマネジメント講座1 ケアマネジメント概論，2000 日本看護協会編：看護白書，日本看護協会出版会，2011		
履修上の注意	講義日は、9/29(1・2・3・4限)、12/1(1・2限)、1/5(1・2・3・4限)、1/19(1・2・3・4限)を予定しているが、変更となる可能性があるため、別途の連絡や掲示に注意すること。 初回は9/29(予定)。		
開講場所等	医学部5号館109		
メールアドレス			
研究室電話番号	内線 23649/23597		
ホームページ			
その他			

02238	疫学論文の読み方と書き方		公共健康科学専修
単位数	1	責任教員	近藤 尚己
開講ターム	3年A2	開講期間	A2 (2017/11/20-2018/01/28)
曜日・時限	火 (Tue)3 [13:00-14:45]		
科目担当	近藤 尚己		
目標・概要	<p>疫学の英語論文を効率的かつ正確に読み、書くための基礎知識と技術を講義と実習により習得する。疫学や医学の論文を学術誌に発表する場合、CONSORT, STROBE, PRISMA といった研究デザインごとに示されている標準的な医学論文執筆のガイドラインがある。これらを踏まえると、論文の読解・執筆ともにスピードアップし、質の向上が期待できる。本講義ではそれを実践的に習得する。また、英語論文で効果的に論証を進めるための具体的な表現法や記述法について学ぶ。習得した内容は日本語論文の執筆にも応用可能。</p> <p>論文読解とは、論文を頭から読み下すことではない。論文の中から効率よく必要な情報を見つけ出し整理し、記述内容を批判的に理解し、吟味することである。その技術の獲得を目指す。</p>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 疫学の基礎・医学論文の種類・文献検索法</li> <li>2 介入研究論文の読み方と書き方（講義・演習）</li> <li>3 観察研究論文の読み方と書き方（講義・演習）</li> <li>4 レビュー論文の読み方と書き方（講義・演習）</li> <li>5 パラグラフ・ライティング</li> <li>6 キレのある（端的でわかりやすい）表現技術</li> <li>7 テスト</li> </ol>		
授業の方法	疫学の英語論文を執筆する際に必要な基礎知識や技術についての説明の後、実習形式で読解と記述を練習する。毎回実際の英語論文読解を宿題として出し、次回の講義の際にクラスで批判的吟味を行ったのち、その日のテーマの学習・実習に入る。		
成績評価方法	出席・態度50%、テスト50%		
教科書			
参考書	<p>必ずアクセプトされる医学英語論文 完全攻略50の鉄則（康永秀生著）医歯薬出版</p> <p>アクセプトされる英語医学論文を書こう！－ワークショップ方式による英語の弱点克服法（ケネディ著）メディカルビュー社</p>		
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	nkondo@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	23513		
ホームページ			
その他			

02279	健康教育（職域・地域）		選択
単位数	2	責任教員	橋本 英樹
開講ターム	3年A2	開講期間	A2（2017/11/20-2018/01/28）
曜日・時限	水（Wed）1 [08:30-10:15]，水（Wed）2 [10:25-12:10]		
科目担当	橋本 英樹，近藤 尚己		
目標・概要	生活習慣行動・健康関連行動がなぜ起こるのか、起こらないのか、健康をめぐる人間行動について、ケースシナリオによるディスカッションを通じて、実践的かつ批判的に理解を深める。医療現場・職場・地域・ならびに国際保健などの異なるシチュエーションを想定してクラス内でディスカッションを展開してもらう。座学は必要最低限に留めるので、能動的な参加を求める。		
授業計画	11月22日 橋本 医療現場シナリオ 11月29日 橋本 職場健診・事後指導シナリオ 12月6日 橋本 職場の健康づくりシナリオ 12月13日 中村 国際保健での実践 12月20日 橋本 地域（行政）の健康づくり 1月10日 三木 学校保健での実践 1月17日 橋本 1限 まとめと試験 2限は予備		
授業の方法	毎回ケースシナリオを元に、ディスカッションから開始する。後半では理論的背景など含めた講義を提供し、得られた知識の整理を促す。さらにレポート提出により自分の考えをまとめ咀嚼してもらう。		
成績評価方法	出席 30%、クラス内ディスカッション・課題提出・質問など発言内容 40%、試験 30%		
教科書	指定しない。適宜資料配布		
参考書			
履修上の注意	クラス内ディスカッションを重視することから、受身での参加、大幅な遅刻はこれを認めない。クラス内での発言を重視し、これを貢献として成績にカウントする。		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	hidehashimoto-circ@umin.ac.jp		
研究室電話番号	5841-3514（内線 23514）		
ホームページ			
その他			

02239	公共健康科学演習 I		公共健康科学専修
単位数	1	責任教員	松山 裕
開講ターム	3年A2	開講期間	A2 (2017/11/20-2018/01/28)
曜日・時限	木 (Thu)3 [13:00-14:45], 木 (Thu)4 [14:55-16:40]		
科目担当	松山 裕		
目標・概要	今日的な公共健康科学に関わる課題(テーマ)を見つけ出し、それらについて、少人数グループでディスカッションし、その課題研究内容(公衆衛生上の課題、分析、結果、解決方法など)について発表する。		
授業計画	<p>担当：精神衛生・看護学教室(演習場所：医学部3号館 S308)</p> <p>11月30日(木)3限：オリエンテーション 4限：演習</p> <p>12月7日(木)3・4限：演習</p> <p>12月14日(木)3・4限：演習</p> <p>12月21日(木)3限：学生による発表</p> <p>担当：疫学・生物統計学教室(演習場所：N101)</p> <p>12月21日(木)4限：オリエンテーション</p> <p>12月27日(水)3・4限：演習</p> <p>1月11日(木)3・4限：演習</p> <p>1月18日(木)3限：演習 4限：学生による発表</p>		
授業の方法	担当教員がまずガイダンスを行う。学生はグループに別れ、それぞれ関心のある公衆衛生上の課題を1つ選び、これについて自ら調べて課題を分析・理解し、その解決策を検討し、発表する。		
成績評価方法	出席(50%)および発表を含むグループワーク(50%)		
教科書	特に指定しないが、課題に応じて指示する。		
参考書	特に指定しないが、課題に応じて指示する。		
履修上の注意	前半と後半で担当教室が異なるので、演習場所などに注意すること。 12月27日(水)に講義があることに中止すること。		
開講場所等			
メールアドレス	shinozaki@epistat.m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	23520		
ホームページ			
その他			

02260	社会福祉・社会保障論		看護科学専修必修
単位数	1	責任教員	橋本 英樹
開講ターム	3年A2	開講期間	A2 (2017/11/20-2018/01/28)
曜日・時限	月 (Mon)2 [10:25-12:10]		
科目担当	橋本 英樹		
目標・概要	医療・介護・福祉など社会保障に関する各制度の歴史・成り立ち・現状の問題点を学ぶことを通じて、社会保障の基本的理念について理解を深める。単に制度そのものを知識として学ぶのではなく、制度の成り立ちの背景となる社会状況や政治的環境、障害に対する価値観（もしくは偏見）がどのように変遷してきたか、その社会的・政治的・歴史的必然性や課題を読み取るように試みてほしい。		
授業計画	11月20日 社会保障制度概論（橋本） 11月27日 医療保険制度（橋本） 12月4日 介護保険制度・地域包括ケア（橋本） 12月11日 医療介護制度の改革議論 12月18, 25日 休講 1月15日 1ならびに2限 社会福祉論概論（坂野） 1月22日 1ならびに2限 障害者福祉各論（坂野）		
授業の方法	講義・ディスカッション・レポート		
成績評価方法	出席 40%、課題 60%		
教科書	指定なし、適宜資料を配布		
参考書	国民衛生の動向、社会福祉の動向（厚生統計協会）		
履修上の注意	12月18, 25日は休講、なお1月15日と22日は1+2限通じて講義になるので、注意		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	hidehashimoto-circ@umin.ac.jp		
研究室電話番号	5841-3514(内線 23514)		
ホームページ			
その他			

02261	小児看護学 I		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	上別府 圭子
開講ターム	3年A2	開講期間	A2 (2017/11/20-2018/01/28)
曜日・時限	月 (Mon)3 [13:00-14:45], 月 (Mon)4 [14:55-16:40]		
科目担当	上別府 圭子, キタ 幸子, 佐藤 伊織, 副島 堯史		
目標・概要	小児各期、すなわち胎児期・新生児期・乳児期・幼児期・学童期・思春期の特性を理解する。小児の成長発達に応じた看護と、小児期の代表的な急性・慢性疾患の病態と課題を理解する。小児期は成長発達の途上にあり、健康障害をもつことが、成長・発達や学習上障害となりうるので、病児をとりまく環境にも理解を深める。健康課題を持つ児とその家族に対して適切なアセスメントを行い、看護を計画・実践・評価することを学ぶ。		
授業計画	<p>3 学年 (A2)</p> <p>時間：月曜 3・4 限 (13:00～16:40) ※日時は変更の可能性あり</p> <p>11 月 20 日 (月) 慢性期にある子どもと家族の看護 子どもと家族への看護過程の展開</p> <p>11 月 27 日 (月) 医療的ケアを要する子どもの在宅・家族の支援 病気・治療・入院生活が発達や家族に及ぼす影響</p> <p>12 月 4 日 (月) 手術を受ける子どもと家族の看護 急性期にある子どもと家族の看護</p> <p>12 月 11 日 (月) 子どもによくみられる症状・疾患と看護 子どもによくみられる事故・外傷と看護</p> <p>12 月 18 日 (月) 病気・治療・入院と学校生活 子どもの集団生活と地域の子育て支援</p> <p>12 月 25 日 (月) 小児慢性疾患患者が大人になるプロセスの支援 家族のライフサイクルと長期フォローアップ</p> <p>1 月 15 日 (月) 試験</p> <p>1 月 22 日 (月) 予備日</p>		
授業の方法	講義		
成績評価方法	<p>出席と試験で評価を行う。</p> <p>正当な理由なき遅刻及び退出が 30 分を超えた場合には欠席扱いとする。</p> <p>最終試験受験資格は、全 12 コマのうち 8 コマ以上出席した者にのみ与える。</p>		

教科書	
参考書	<p>キャスリーン M. スピア編, 田中正徳訳:看護診断に基づく小児看護ケアプラン, 医学書院, 1999.</p> <p>塚原正人監訳:小児の看護アセスメント 最新看護ガイド, 医学書院, 2001.</p> <p>飯沼一字他著:小児科学・新生児学テキスト (第5版), 診断と治療社, 2007.</p> <p>白木和夫, 前川喜平編:小児科学 (第3版), 医学書院, 2008.</p> <p>船戸正久, 高田哲編著:医療従事者と家族のための小児在宅医療支援マニュアル (改訂第2版), メディカ出版, 2010.</p> <p>浅野みどり編:根拠と事故防止からみた小児看護技術, 医学書院, 2012.</p> <p>前田浩利編:地域で支える みんなで支える実践!! 小児在宅医療ナビ (第1版), 南江堂, 2013</p> <p>田原卓浩編:移行期医療:子どもから成人への架け橋を支える, 中山書店, 2015.</p> <p>奈良間美保他著:小児看護学概論:小児臨床看護総論, 医学書院, 2015.</p> <p>奈良間美保他著:小児臨床看護各論, 医学書院, 2015.</p> <p>小児血液・がん学会編:小児血液・腫瘍学, 診断と治療社, 2015.</p> <p>JPLSG 長期フォローアップ委員会長期フォローアップガイドライン作成ワーキンググループ編:小児がん治療後の長期フォローアップガイドライン, 医薬ジャーナル社, 2013.</p>
履修上の注意	看護学コースの学生のための必修科目であり、健康科学コースの学生のための選択科目である。
開講場所等	医学部 3 号館 N101
メールアドレス	
研究室電話番号	23694
ホームページ	<a href="http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/</a>
その他	



02284	心の健康トピックス		選択
単位数	1	責任教員	川上 憲人
開講ターム	3年A2	開講期間	A2 (2017/11/20-2018/01/28)
曜日・時限	火 (Tue)2 [10:25-12:10]		
科目担当	川上 憲人		
目標・概要	その時々心の健康に関するトピックスを取り上げて講義する。平成29年度は、職場のメンタルヘルスの知識と技術を取り上げて、基礎知識から実践技術までを教授する。各回とも、基本的な知識の講義の後、学生がグループにわかれてそれぞれのテーマでグループワークやケース検討を行う。		
授業計画	11月21日 (火) 2限 職場のメンタルヘルスの仕組みをつくる 11月28日 (火) 2限 ケースに対応する① 12月5日 (火) 2限 ケースに対応する② 12月12日 (火) 2限 職業性ストレスの理論と測定 12月19日 (火) 2限 セルフケア教室 1月9日 (火) 2限 管理監督者教育 1月16日 (火) 2限 ワークエンゲイジメント		
授業の方法	講義		
成績評価方法	出席 (50%) レポート (50%) による。		
教科書	教科書の指定はない。講義資料を配付。		
参考書			
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	kawakami@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3521		
ホームページ			
その他			

02231	生命環境科学演習			環境生命科学専修
単位数	1	責任教員	渡邊 洋一	
開講ターム	3年A2	開講期間	A2 (2017/11/20-2018/01/28)	
曜日・時限	金(Fri)1 [08:30-10:15], 金(Fri)2 [10:25-12:10], 金(Fri)3 [13:00-14:45], 金(Fri)4 [14:55-16:40]			
科目担当	渡邊 洋一, 徳永 勝士, 水口 雅, 渡辺 知保			
目標・概要	環境生命科学分野について、文献講読、実験実習、関連施設の見学等を通じて深く理解する。			
授業計画	後日、受講希望者への e-mail で知らせます。			
授業の方法	文献講読、実習、関連施設の見学等			
成績評価方法	出席とレポート			
教科書	必要に応じて資料を配布します。			
参考書				
履修上の注意	受講希望者は11/1までに渡邊 (ywatanab@m.u-tokyo.ac.jp) まで連絡すること。			
開講場所等	医学部3号館N101			
メールアドレス	ywatanab@m.u-tokyo.ac.jp			
研究室電話番号	03-5841-3526			
ホームページ				
その他				

02293	<b>長期ケア看護学</b>		選択
単位数	2	責任教員	山本 則子
開講ターム	3年A2	開講期間	A2 (2017/11/20-2018/01/28)
曜日・時限	木(Thu)1 [08:30-10:15], 木(Thu)2 [10:25-12:10]		
科目担当	山本 則子, 五十嵐 歩, 野口 麻衣子, 御子柴 直子		
目標・概要	看護職およびその他の健康関連の実務、教育、研究に携わることをめざす学生が、成人看護を実践するための基礎的知識を得ること、特に、看護学の原理、原則に基づいて成人看護学の構造と領域を理解し、実践方法を具体的に学ぶことを目標とする。成人の看護において特に重要な領域について、講義を通して学ぶとともに、実例を元にしたケースについて看護過程を展開し、プレゼンテーション・ロールプレイを実施する。		
授業計画	11月30日(木) ガイダンス・看護過程/生活支援の看護学 12月7日(木) 外来化学療法/看護過程 12月14日(木) 患者会/服薬アドヒアランス・緩和ケアとチーム医療 12月21日(木) 看護過程/HIV感染者・AIDS患者の看護 12月28日(木) 看護技術演習①② 1月11日(木) 看護過程/災害看護 1月18日(木) 看護過程/試験		
授業の方法	講義、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク、ロールプレイによる		
成績評価方法	試験、出席、プレゼンテーション等による		
教科書			
参考書	看護学テキストシリーズ NiCE 「成人看護学：慢性期看護～病気とともに生活する人を支える」「成人看護学：急性期看護 I～概論・周手術期看護」南江堂		
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 三分の二以上の出席数を満たした場合に試験受験資格を有する。</li> <li>・ 正当な理由なき遅刻・退出が30分を超えた場合には欠席扱いとする。</li> <li>・ 授業日程、内容は変更になる可能性あり。</li> </ul>		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス			
研究室電話番号	03-5841-3508		
ホームページ	<a href="http://www.adng.m.u-tokyo.ac.jp/subject_001.php">http://www.adng.m.u-tokyo.ac.jp/subject_001.php</a>		
その他			

<b>02296</b>	<b>臨床倫理</b>		<b>選択</b>
単位数	2	責任教員	赤林 朗
開講ターム	3年A2	開講期間	A 2 (2017/11/20-2018/01/28)
曜日・時限	水 (Wed)3 [13:00-14:45], 水 (Wed)4 [14:55-16:40]		
科目担当	赤林 朗, 瀧本 禎之, 中澤 栄輔		
目標・概要	本講義では、保健・医療の分野においてしばしば生じる意思決定が困難な問題を、主に倫理的側面から検討する。授業では、臨床倫理の基礎理論を講義するだけでなく、具体的なケースを用いたディスカッションも行う。また、論文や資料を用いた演習を実施する。		
授業計画	<p>時間：13:00～16:40</p> <p>授業スケジュール</p> <p>日程講義題目</p> <p>11月22日(水) 臨床倫理の基礎1</p> <p>12月29日(水) 臨床倫理の基礎2</p> <p>12月6日(水) 生殖補助医療の倫理1</p> <p>12月13日(水) 生殖補助医療の倫理2</p> <p>12月20日(水) 臓器移植と再生医療の倫理</p> <p>1月10日(水) 終末期医療の倫理</p> <p>1月17日(水) まとめ</p>		
授業の方法	講義と演習、スモール・グループ・ディスカッション		
成績評価方法	授業への参加度合い(50%)、および最終レポート(50%)により評価する。		
教科書	赤林朗(編著)『入門・医療倫理I [改訂版]』勁草書房		
参考書	<p>Jonsen, A.R. et al. 著(赤林、蔵田、児玉監訳)『第5版臨床倫理学-臨床医学における倫理的決定のための実践的なアプローチ』新興医学出版</p> <p>トニー・ホープ著(児玉聡・赤林朗訳)『一冊でわかる医療倫理』岩波書店</p> <p>赤林朗編著『ケースブック 医療倫理』医学書院</p>		
履修上の注意			
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス	nakazawa@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	23607		
ホームページ			
その他			

02272	老年看護学		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	真田 弘美
開講ターム	3年A2	開講期間	A2 (2017/11/20-2018/01/28)
曜日・時限	火 (Tue)4 [14:55-16:40], 火 (Tue)5 [16:50-18:35]		
科目担当	真田 弘美, 玉井 奈緒, 仲上 豪二郎		
目標・概要	高齢者の身体的・心理的・社会的特徴および老年看護に活用可能な理論を理解すること。加齢に伴う身体の変化に対する病態生理・治療方法を知り、特に高齢者に特徴的な老年症候群に対するケアの実際を理解する。		
授業計画	11月23日(火) インスタント・シニアの体験実習(演習) 11月28日(火) 老年期の身体的・心理的・社会的特徴と看護/高齢者の看護と必要な理論 11月28日(火) 加齢に伴う身体の変化(総論) 12月5日(火) 加齢に伴う身体の変化(認知症) 12月5日(火) 加齢に伴う身体の変化(腎臓・高血圧・脳卒中) 12月5日(火) 加齢に伴う身体の変化(骨粗鬆症) 12月12日(火) 加齢に伴う身体の変化(呼吸器疾患) 12月12日(火) 加齢に伴う身体の変化(循環器疾患) 12月12日(火) 高齢者の薬物療法 12月19日(火) 老年症候群と看護 認知症/IADL 12月19日(火) 老年症候群と看護 摂食・嚥下障害 1月9日(火) 老年症候群と看護 排泄障害 1月9日(火) 老年症候群と看護 褥瘡 1月16日(火) 高齢者との関わり コミュニケーション技術		
授業の方法	講義と演習		
成績評価方法	授業への2/3以上の出席(出席カードへの記載)およびレポート		
教科書			
参考書	正木治恵, 真田弘美編集. 老年看護学概論 「老いを生きる」を支えることとは. 南江堂. 2016, 9月(改訂第2版) 真田弘美, 正木治恵編集. 老年看護学技術 最後までその人らしく生きることを支援する. 南江堂. 2016, 9月(改訂第2版)		
履修上の注意	15分以上の遅刻は欠席とします。授業への1/3以上の欠席で単位履修不可となります。		
開講場所等	医学部3号館N101		
メールアドレス			
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			

02270	母性看護学実習		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	春名 めぐみ
開講ターム	3年A2W	開講期間	A2W (2017/11/20-2018/03/31)
曜日・時限	金 (Fri)1 [08:30-10:15], 金 (Fri)2 [10:25-12:10], 金 (Fri)3 [13:00-14:45], 金 (Fri)4 [14:55-16:40]		
科目担当	春名 めぐみ, 笹川 恵美, 米澤 かおり, 疋田 直子		
目標・概要	<p>1. 目的 妊婦、産婦、褥婦および新生児とその家族を理解し、対象に応じた看護を実践できる知識・技術と態度を養う。</p> <p>2. 目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 妊娠、分娩、産褥および新生児の正常な経過を理解できる。</li> <li>2) 対象の健康問題を明確にし、健康維持および増進を促す看護過程の展開を理解できる。</li> <li>3) 周産期の母子および夫、家族を取り巻く生活環境や心理社会的状況を理解できる。</li> <li>4) 母子関係の成立状況や心理的变化を観察し、援助のあり方を考察する。</li> <li>5) 講義で得た知識と実際の妊婦・褥婦・新生児とのかかわりや地域における妊産婦ケアや保健指導の実際から得た学びを統合し、対象への理解を深め、ケアや保健指導の方法や評価について考察する。</li> </ol>		
授業計画	<p>病院の外来、助産院、保健センターでの実習と産科病棟実習の2期間で実施予定。</p> <p>1) 外来・助産院・保健センター実習 (3日間病院・助産院、1日NICUまたは地域の母科学級見学、最終日は報告会) 平成29年10月13日(金), 27日(金), 11月14日(火), 12月8日(金), 22日(金)</p> <p>2) 産科病棟実習 平成30年2月19日(月)～2月23日(金)</p> <p>実習時間：8:00～16:00</p> <p>(外来・助産院・保健センター実習は、施設に実習時間に合わせ、半日の場合には大学にてディスカッション、演習、記録のまとめを行う)</p>		
授業の方法	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病院 / 外来、新生児集中治療室 (NICU) 他で臨地実習		
成績評価方法	実習記録、レポートの提出状況、実習、実習カンファレンスへの参加状況		
教科書	系統看護学講座 専門24・25 母性看護学概論・各論 [1] [2] 医学書院		
参考書			
履修上の注意	基礎看護学 (I・II・III)、基礎看護学実習、母性看護学 (3年) を履修していること。		
開講場所等			
メールアドレス	mharuna@m.u-tokyo.ac.jp		
研究室電話番号	03-5841-3396 (内線: 23396)		
ホームページ	<a href="http://midwifery.m.u-tokyo.ac.jp/">http://midwifery.m.u-tokyo.ac.jp/</a>		
その他			

02262	小児看護学実習 I		看護科学専修必修
単位数	1	責任教員	上別府 圭子
開講ターム	3年W	開講期間	W (2018/01/29-2018/03/31)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	上別府 圭子, キタ 幸子, 佐藤 伊織, 副島 堯史		
目標・概要	小児の成長発達や生活についての基本的事項を学習する。保育所において、健康な乳幼児との遊びや生活援助を通して、乳幼児とのコミュニケーションのとり方、観察のポイントを習得し、また、子どもと家族に対する看護職の機能を理解する。さらに、特別支援学校分教室や小児病棟において、入院している子どもの生活の重要な部分を担う病弱教育・病棟保育の位置づけと実践について学ぶ。これらを通じて、病棟実習でケア展開に取り組む際の基本的技術を習得し、子どもとその家族の発達や生活を支援する看護の視点を醸成する。		
授業計画	<p>実習スケジュール ※ 日時は変更の可能性あり</p> <p>1. 保育所実習 時間：保育所実習 9:00～16:00 日程：平成29年2月26日(月)～3月2日(金) 場所：各保育所</p> <p>2. 特別支援学校分教室見学 日程：平成29年3月1日(木)・3月2日(金) 場所：東京都立北特別支援学校東大こだま分教室</p>		
授業の方法	実習		
成績評価方法	実習状況とレポートから総合的に評価する。		
教科書			
参考書	<p>二木武他編著：新版小児の発達栄養行動 摂食から排泄まで／生理・心理・臨床，医歯薬出版株式会社，1995.</p> <p>帆足英一，庄司順一：保育のための乳幼児養育指針，企画室，2000.</p> <p>平山宗宏，高井俊夫，日暮真：新訂小児保健 新現代幼児教育シリーズ，東京書籍，2003.</p> <p>平山宗宏，川井尚，中村敬編：育児の事典，朝倉書店，2005.</p> <p>田中哲郎：保育園における事故防止と危機管理マニュアル（改訂第4版），日本小児医事出版社，2008.</p> <p>大谷尚子他：養護教諭のためのフィジカルアセスメントー見て学ぶ応急処置の基礎基本．日本小児医事出版社，2011.</p> <p>厚生労働省．保育所における感染症対策ガイドライン 2012年改訂版．2012.</p> <p>大谷尚子他：養護教諭のためのフィジカルアセスメント&lt;2&gt;ー教職員と見て学ぶ救命救急の基礎基本．日本小児医事出版社，2013.</p> <p>渡辺博：わかりやすい予防接種（改訂第五版）．診断と治療社，2014.</p>		

<b>参考書</b>	<p>横田裕行著, 荒木尚・植田育也訳: 赤ちゃんと子どもの応急処置マニュアル, 南江堂, 2014.</p> <p>厚生労働科学研究費補助金「病児・病後児保育の実態把握と質向上に関する研究」班: 病児病後児保育における保育士看護師等のためのハンドブック. 2015.</p> <p>白木和夫, 高田哲編: ナースとコメディカルのための小児科学(第5版), 日本小児医事出版社, 2016.</p> <p>安井良則監修: 保育園における感染症対策, 一般社団法人全国保育園保健師看護師連絡会 [DVD]</p> <p>大橋喜美子監修: 乳幼児の発達と保育: こころとからだを育てるあそびの環境 Vol. 1 (0歳児), 2 (1歳児・2歳児), 3 (3歳児・4歳児・5歳児), 医学映像教育センター [DVD]</p>
<b>履修上の注意</b>	<p>履修条件:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生定期健康診断を受診し、抗体検査および必要な予防接種を済ませておくこと。</li> <li>2. 基礎看護学Ⅰ、看護支援技術論、基礎看護学実習、及び小児看護学Ⅰ、家族と健康、ヘルスコミュニケーション学を履修していること。</li> </ol>
<b>開講場所等</b>	
<b>メールアドレス</b>	
<b>研究室電話番号</b>	23694
<b>ホームページ</b>	<a href="http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/">http://www.fn.m.u-tokyo.ac.jp/</a>
<b>その他</b>	



02271	<b>慢性期看護学実習</b>		看護科学専修必修
単位数	2	責任教員	山本 則子
開講ターム	3年W	開講期間	W (2018/01/29-2018/03/31)
曜日・時限	集中(Int)		
科目担当	山本 則子, 五十嵐 歩, 野口 麻衣子, 御子柴 直子		
目標・概要	成人の看護において必要となる基本的な臨床的観察、技術、思考力、判断力および態度を習得する。実習病院に入院中の患者の看護担当者の一人となり、教員あるいは実習指導者の指導を受け、病院の看護責任者の監督のもとに、患者の看護を計画し、実施し、評価する。		
授業計画	1日8時間を使って医学部付属病院において行われる。  2018/1/29～2/9 (2週間) 月～金  学生は、内科系病棟において、教員あるいは実習指導者の指導・監督の下一人の患者を担当し、看護過程と主要な臨床看護技術を深める。		
授業の方法	臨地実習(実習病院に入院中の患者一人を受け持つ)、カンファレンス、実習発表会		
成績評価方法	出席、実習内容、実習記録、レポート		
教科書			
参考書			
履修上の注意	全出席を原則とする。やむを得ない事情のある場合の欠席に限り、考慮する。		
開講場所等			
メールアドレス			
研究室電話番号			
ホームページ			
その他			